

Syllabus

科目別年間進度表

1 . 現代文 (文理共通)	43	24 . 地学 (創造表現)	91
2 . 現代文 (創造表現)	45	25 . 体 育	93
3 . 古 典 (2単位)	47	26 . 音楽	95
4 . 古 典 (創表3単位)	49	27 . 書道	97
5 . 古典講読 (普通文系2単位)	51	28 . リーディング	98
6 . 世界史B (理系4単位)	53	29 . ライティング	100
7 . 世界史B (文系5単位)	55	30 . 英語講読	102
8 . 世界史B (文系3単位)	57	31 . C G	103
9 . 日本史B (理系・創造表現)	59	32 . デザイン	104
10 . 日本史B (文系)	61	33 . 絵画	105
11 . 地 理B (理系)	63	34 . 工 芸	106
12 . 地 理B (文系)	65	35 . 構 成	107
13 . 倫 理	67	36 . 彫 塑	108
14 . 政治・経済 (文・理系)	69	37 . 陶 芸	109
15 . 政治・経済 (文)	71	38 . 日本画	110
16 . 政治・経済 (創造表現)	73	39 . 美術史	111
17 . 数 学	75	40 . 美術創造	112
18 . 物理	79		
19 . 化学 (文系)	81		
20 . 化学 (理系)	83		
21 . 生物 (文系)	85		
22 . 生物 (理系)	87		
23 . 地学 (普通)	89		

現代文 / 普通文系・理系 共通 2 単位

		単元名	学習する内容	時間数
前	4月	近代小説の読解	夏目漱石「こころ」	8
	5月	評論文の読解	村上陽一郎「あらまほしき自然」	4
期	6月	問題演習	山崎正和「心に『海』を持って」	4
		第1回考査	入試・模擬試験の過去問題など	2
	7月	評論文の読解	野村雅一「自己演技と表情」	5
		問題演習	入試・模擬試験の過去問題など	3
	夏休み	実力テスト		
後	8月	評論文の読解	丸山真男「である」ことと「する」こと	6
	9月	問題演習	入試・模擬試験の過去問題など	3
後	10月	第2回考査	センター試験対策問題・過去問等	18
	11月	入試問題研究		
期	12月	第3回考査	センター試験対策問題・過去問等	4
		入試問題研究		
	冬休み	実力テスト（行わない）		
	1月	入試問題研究	センター試験対策問題	11
	2月	入試問題研究	国公立二次・私学対策問題	
	3月			

		現代文 副教材(試験範囲)
前 期	4月	春休み実力テスト 「新演習現代文」1～4 演習入試漢字1800 6～45頁
	5月	新日本文学史 「上代・中古の文学」6～37頁
前 期	6月	第1回考査 「新演習現代文」5～9 演習入試漢字1800 46～83頁 新日本文学史 「中世の文学」38～63頁
	7月	夏休み実力テスト 「新演習現代文」10～14 演習入試漢字1800 84～119頁 新日本文学史 「近世の文学」64～86頁
中 期	夏休み	
	9月	第2回考査 「新演習現代文」15～18 演習入試漢字1800 122～167頁 新日本文学史 「近代の文学・前半」88～107頁 (練習問題1～29)132～137頁
後 期	10月	
	11月	
後 期	12月	第3回考査 「新演習現代文」19～22 演習入試漢字1800 168～193頁 新日本文学史 「近代の文学・後半」108～131頁 (練習問題30～61)137～141頁 (総合問題1～13)150～154頁
	冬休み	
	1月	
	2月	
	3月	

現代文 / 創造表現コース 2 単位

		単元名	学習する内容	時間数
前 期	4月	近代小説の読解	夏目漱石「こころ」	8
	5月	評論文の読解	村上陽一郎「あらまほしき自然」	4
	6月		山崎正和「心に『海』を持って」	4
		問題演習 第1回考査	入試・模擬試験の過去問題など	2
	7月	評論文の読解	野村雅一「自己演技と表情」	5
		問題演習	入試・模擬試験の過去問題など	3
夏休み	実力テスト			
8月	評論文の読解	丸山真男「である」ことと「する」こと	6	
	9月	問題演習	入試・模擬試験の過去問題など	3
後 期	10月	第2回考査 入試問題研究	センター試験対策問題・過去問等	18
	11月			
	12月	第3回考査 入試問題研究	センター試験対策問題・過去問等	4
	冬休み	実力テスト（行わない）		
	1月	入試問題研究	センター試験対策問題	11
		2月	入試問題研究	国公立二次・私学対策問題
3月				

		現代文 副教材 (試験範囲)
前	4月	春休み実力テスト 「新演習現代文」1～4
	5月	演習入試漢字1800 6～45頁 新日本文学史 「上代・中古の文学」6～37頁
期	6月	第1回考査 「新演習現代文」5～9 演習入試漢字1800 46～83頁 新日本文学史 「中世の文学」38～63頁
	7月	夏休み実力テスト 「新演習現代文」10～14 演習入試漢字1800 84～119頁 新日本文学史 「近世の文学」64～86頁
後	9月	第2回考査 「新演習現代文」15～18 演習入試漢字1800 122～167頁 新日本文学史 「近代の文学・前半」88～107頁 (練習問題1～29)132～137頁
	10月 11月	
期	12月	第3回考査 「新演習現代文」19～22 演習入試漢字1800 168～193頁 新日本文学史 「近代の文学・後半」108～131頁 (練習問題30～61)137～141頁 (総合問題1～13)150～154頁
	1月	
	2月	
	3月	

古典 / 普通文系・理系 2単位

		単元名	学習する内容	時間数
前	4月	古文：紀行の読解 漢文：文章の読解	古文：「野ざらし紀行」野ざらしを心に 吉野の奥に 漢文：「赤壁賦」	3 2 4
	5月	古文：俳文の読解 漢文：文章の読解	古文：「去来抄」 漢文：「捕蛇者説」	3 4
	6月	古文：日記の読解 漢文：文章の読解 第1回考査	古文：「和泉式部日記」夢よりもはかなき	3
期	7月	古文：物語の読解 漢文：思想の読解	古文：「源氏物語」須磨・御法 漢文：道家の思想	9 3
	夏休み	実力テスト		
	9月	古文：日記の読解 漢文：思想の読解	古文：「蜻蛉日記」うつろひたる菊 鷹 漢文：道家の思想	3 2 2
後	10月 11月	第2回考査 入試問題研究	センター試験対策問題・過去問題等	16
	12月	第3回考査 入試問題研究	センター試験対策問題・過去問題等	4
	冬休み	実力テスト(行わない)		
期	1月	入試問題研究	センター試験対策問題	12
	2月	入試問題研究	国公立二次・私学対策問題	
	3月			

平成19(2007)年

		古典 副教材 (試験範囲)
前	4月	春休み実力テスト (文理全クラス共通のテスト範囲) 紛らわしい語の識別マスターノート 全範囲 ニューエイジ古文 1 ~ 2 応用漢文 1 ~ 6
	5月	
	6月	
期	7月	夏休み実力テスト (文理全クラス共通のテスト範囲) ニューエイジ古文 9 ~ 14 応用漢文 13 ~ 18
	夏休み	
	9月	
後	10月	第3回考査 ニューエイジ古文 22 ~ 25 (理系のみ。普通文系は試験範囲としません。) 応用漢文 25 ~ 30 (" ")
	11月	
	12月	
	冬休み	
	1月	
	2月	
3月		

古典 / 創造表現コース 3 単位

		単元名	学習する内容	時間数
前	4月	古文：俳論の読解 漢文：文章の読解	古文：「野ざらし紀行」野ざらしを心に 吉野の奥に 漢文：「赤壁賦」	3 2 4
	5月	古文：紀行文の読解 漢文：文章の読解	古文：「去来抄」 漢文：「捕蛇者説」	3 4
	6月	古文：日記の読解 漢文：文章の読解 問題演習 第1回考査	古文：「和泉式部日記」夢よりもはかなき ニューエイジ古文3～8・ 応用漢文7～12 より選択して演習	3 9
期	7月	古文：物語の読解 漢文：漢詩の読解 問題演習	古文：「源氏物語」須磨・御法 漢文：道家の思想 ニューエイジ古文9～14・ 応用漢文13～18 より選択して演習	9 3 4
	夏休み			
	9月	実力テスト		
		古文：俳論・紀行文の読解 漢文：思想の読解 問題演習	古文：「蜻蛉日記」うつろひたる菊 鷹 漢文：道家の思想 ニューエイジ古文15～21・ 応用漢文19～24 より選択して演習	3 2 3 5
後	10月	第2回考査 入試問題研究	センター試験対策問題・入試過去問題等	16
	11月	問題演習	ニューエイジ古文22～25・ 応用漢文25～30 より選択して演習	8
	12月	第3回考査 入試問題研究	センター試験対策問題・入試過去問題等	6
期	冬休み			
	1月	実力テスト（行わない）		
	1月	入試問題研究	センター試験対策問題 国公立二次・私学対策問題	18
	2月			
	3月			

平成19(2007)年

		古典 副教材 (試験範囲)
前	4月	春休み実力テスト (文理全クラス共通のテスト範囲) 紛らわしい語の識別マスターノート 全範囲 ニューエイジ古文 1 ~ 2 応用漢文 1 ~ 6
	5月	
	6月	第1回考査 ニューエイジ古文 3 ~ 8 (創造表現と理系のための試験範囲) 応用漢文 7 ~ 12 (")
期	7月	
	夏休み	夏休み実力テスト (文理全クラス共通のテスト範囲) ニューエイジ古文 9 ~ 14 応用漢文 13 ~ 18
	9月	第2回考査 ニューエイジ古文 15 ~ 21 (創造表現と理系のための試験範囲) 応用漢文 19 ~ 24 (")
後	10月	
	11月	
	12月	第3回考査 ニューエイジ古文 22 ~ 25 (創造表現と理系のための試験範囲) 応用漢文 25 ~ 30 (")
	冬休み	
	1月	
期	2月	

古典講読 / 普通文系 2 単位

		単元名	学習する内容	時間数
前	4月	古文：物語の読解	古文：「大和物語」旅寝の夢 「大鏡」菅原道真の左遷 「源氏物語」藤壺の宮との過ち	2 3 4
	5月	漢文：文章の読解	漢文：「搜神記」織女・売鬼 「幽明録」買粉兒	6
	6月	問題演習 第1回考査	演習：「古文の演習」「漢文の演習」 各1～7より選択し演習	4
期	7月	古文：物語の読解 問題演習	古文：「源氏物語」物の怪の出現 演習：「古文の演習」「漢文の演習」 各8～14より選択し演習	4 2
	夏休み	実力テスト		
	9月	古文：物語の読解 評論の読解 問題演習	古文：「源氏物語」明石の君との出会い 「俊頼髓脳」 「源氏物語玉の小櫛」 演習：「古文の演習」「漢文の演習」 各8～14より選択し演習	4 2 3 2
	後	10月 11月	第2回考査 入試問題研究	センター試験対策問題・入試過去問題・ 「古文の演習」「漢文の演習」各15～21 より演習
期	12月	第3回考査 入試問題研究	センター試験対策問題・入試過去問題等	4
	冬休み	実力テスト（行わない）		
	1月	入試問題研究	センター試験対策問題 国公立二次・私学対策問題	14
	2月			
	3月			

		古典 副教材 (試験範囲)
前	4月	春休み実力テスト 「国語」の中の「古典」として文理共通で一括実施。 「古典」の春休み実力テストと同範囲です。
	5月	
6月	第1回考査 古文の演習 標準編 1～7 漢文の演習 標準編 1～7	
期	7月	夏休み実力課題テスト 「国語」の中の「古典」として文理共通で一括実施。 「古典」の夏休み実力テストと同範囲です。
	夏休み	
9月	第2回考査 古文の演習 標準編 8～14 漢文の演習 標準編 8～14	
後	10月	古文の演習 実践編 15～21・漢文の演習 実践編 15～21 を中心に授業で演習
	11月	
期	12月	第3回考査 古文の演習 実践編 15～21 漢文の演習 実践編 15～21
	冬休み	
	1月	
	2月	
	3月	

世界史 理系 (4単位)

		単元名	教材名	時間数
前 期	4月	第7章 内陸アジア・東アジア世界の展開	教科書P. 116 ~ P. 216 内陸アジアの動きと東アジア世界、モンゴル民族の活躍	(理系) 44
	5月	第8章 ヨーロッパ世界の形成と展開	西ヨーロッパ世界の成立、封建社会、ローマ=カトリック教会、ビザンツ帝国と東ヨーロッパ、十字軍、封建社会の変質、王権の伸長、中世ヨーロッパの文化	
期	6月	第9章 近代ヨーロッパ世界の形成	ルネサンス、ヨーロッパ世界の海外進出、宗教改革、西ヨーロッパの絶対王政の盛衰、東ヨーロッパ絶対王政と近代化政策、イギリス「第一帝国」の成立と資本主義的世界体制、17~18世紀のヨーロッパ文化	(理系) 36
	7月 前半	第10章 アジア諸国の繁栄	トルコ・イラン世界のイスラーム国家、ムガル帝国と東南アジア、中華帝国と李朝、東南アジア・東アジア諸国の交流	
	8月 後半	第1回考査		
	9月	第11章 大西洋革命の展開 第12章 19世紀のヨーロッパ・アメリカ世界 第13章 19世紀のアジア・アフリカ世界 第14章 帝国主義の時代 第2回考査	教科書P. 217 ~ P. 294 アメリカ独立革命、フランス革命とヨーロッパの変動、産業革命と資本主義的世界体制 ウィーン体制と1848年諸革命、1848年から1870年前後のヨーロッパ世界、19世紀の南北アメリカ世界、19世紀のヨーロッパ・アメリカの文化と第2次産業革命 西アジア・アフリカの変動と改革、インドの植民地化、東南アジアの植民地化、東アジアの変革と改革 帝国主義の時代、ヨーロッパと南北アメリカ、世界分割の進行、東アジアの分割と革命、帝国主義時代の国際対立	
後 期	10月	第15章 第一次世界大戦と世界の変動	教科書P. 294 ~ P. 353 第一次世界大戦、ロシア革命、ヴェルサイユ体制、民族運動の新展開	(理系) 44
	11月	第16章 ファシズムと第二次世界大戦	世界恐慌とファシズム、日中戦争の展開と東アジア、第二次世界大戦、	
		第17章 冷戦の時代	戦後の変革と冷戦の展開、アジア・アフリカの独立と革命、冷戦の緩和と平和共存の模索、中ソ対立とヴェトナム戦争、冷戦時代の日本、	
	12月	第18章 冷戦の終結	アメリカとソ連の接近、東ヨーロッパ社会主義圏の崩壊、ヨーロッパ統合の進展、ラテンアメリカとオセアニア、アジア社会主義諸国と東南アジアの変容、ゆるる西アジア・アフリカ	
	1月 2月	第19章 現代の課題 第3回考査	平和と繁栄を求めて、現代の科学と文化、日本の進路	
		センタ - 演習	センター試験などの傾向分析に基づいて問題演習を行います。	(理系) 16

学習のねらい

- 第7章 唐末五代から宋への中国社会の変動と東アジア世界の変動を理解する。
モンゴル帝国によりユーラシア全体にまたがる交易圏が形成されたことを理解する。征服王朝としての元の中国支配の特徴を理解する。
- 第8章 フランクとローマ教会の提携によって西欧中世世界が形成された経緯を把握する。
封建制と荘園制からなる封建社会の形成とその特徴を理解する。
西欧中世世界においてローマ=カトリック教会が絶大な権威を樹立したことを理解する。
ビザンツ帝国やスラヴ人を中心に形成された東欧世界の歴史的特質を理解する。
十字軍遠征を西欧中世世界の膨張という大きな動きの中で把握する。
十字軍遠征以降の中世社会の崩壊の動きと、その中から新しい時代を開く都市市民・独立自営農民が成長してくる動きを統一的に把握する。
教皇権の衰退、諸侯・騎士の没落にともなって王権が伸長してくる動きを把握する。
キリスト教文化としての中世西欧文化を、ビザンツやイスラーム世界とも関わって発展したことにも注目して理解する。
- 第9章 ルネサンス 大航海 宗教改革がヨーロッパの近代化に果たした意義と、世界の一体化の始まりを理解する。
西欧諸国の絶対王政の構造と特色、啓蒙専制君主が出現した東欧諸国の絶対主義の特色とその歴史的意義を把握する。
ヨーロッパの世界進出と植民地争奪戦の経過を把握し、イギリスが最終的に勝利した理由と意義を考察する。
絶対主義時代の宮廷文化とともに、科学革命の意義について考察し、近代社会に大きな影響を与えた自然法思想や啓蒙思想などの諸思想について理解する。
- 第10章 ティムール帝国・オスマン帝国 ムガル帝国のイスラームの大帝国の繁栄とその影響を明らかにする。
明帝国の経済的発展・女真族の清帝国の中国支配と繁栄、および李氏朝鮮の発展、アジアの周辺諸国の動向について学習する。
- 第11章 市民革命としてのアメリカ独立革命、フランス革命と、ナポレオンによるヨーロッパの変革の意義を理解する。
産業革命による資本主義社会の確立と、資本主義の世界体制の形成について理解する。
- 第12章 ウィーン体制に対する自由主義の戦いとその勝利に至る過程を学習する。
19世紀後半における国民主義の進展と国民国家の成立について理解する。
19世紀のアメリカ合衆国の発展と南北戦争の意義を理解する。
資本主義市民社会の発展を背景として19世紀欧米文化の展開と意義を理解する。
- 第13章 ヨーロッパ資本主義の進出による西アジア・アフリカの植民地化とそれに対する民族的抵抗と変革の動きを理解する。
同じくインドの植民地化と抵抗、東南アジアの植民地化、中国への進出と抵抗や変革の動きを理解する。
- 第14章 独占資本主義の発達により19世紀末から帝国主義時代に入ることを把握する。
欧米諸国の帝国主義化と各国の帝国主義政策の特色を理解する。
帝国主義諸国によるアフリカ・中国・太平洋地域の分割の状況、および20世紀初め頃の義和団事件や辛亥革命など、反帝国主義の民族運動や変革運動の展開を把握する。
帝国主義の世界分割・再分割競争が三国同盟・三国協商を軸とした二大陣営の対立へと発展することを理解する。
- 第15章 第一次世界大戦の帝国主義戦争、総力戦としての性格を把握する。
ロシア革命によって社会主義ソヴィエト政権が誕生する経過と意義を理解する。
第一次世界大戦後のヴェルサイユ体制・ワシントン体制による国際秩序を把握する。
第一次世界大戦後の民族運動をガンディーの非暴力・不服従運動、中国国民革命などを中心に理解する。
- 第16章 世界恐慌が戦間期の国際秩序に危機をもたらし、ファシズムの台頭による新たな危機を生み出したことを理解する。
日本の侵略による日中戦争の開始と、第2次国共合作による抵抗の戦いを把握する。
第二次世界大戦の性格と経過、影響について理解し、平和の意義を考える。
- 第17章 第二次世界大戦後の米ソを中心とする東西両陣営の構造を理解する。
アジア・アフリカ諸国の独立と第三勢力としての登場の経過と意義を理解する。
1950年代後半期の緊張緩和と平和共存への動きの過程とその背景を把握する。
1960年代からの中ソ対立やヴェトナム戦争による米国の威信の低下、欧州の統合への動きなど、世界の多極化の動きを把握する。
冷戦中に日本は西側陣営に入り、急激な経済発展を遂げたことを把握する。
- 第18章 1989年マルタ会談による冷戦の終結にいたる米ソの動向を把握する。
1989年のベルリンの壁崩壊と東欧諸国の民主化により東欧社会主義政権が崩壊していったことを理解する。
ヨーロッパ諸国は、ヨーロッパ連合（EU）結成へと進み、さらに東欧諸国も吸収しつつあることを理解する。
ラテン=アメリカ、オセアニア地域でも進む地域・経済協力関係について理解する。
社会主義市場経済へと転換した中国が急激な経済発展とともに、東アジアにおける指導力を発揮しつつあることを理解する。
パレスチナ問題、イラク戦争など各地の地域紛争や現代の戦争の原因や歴史的背景を考察する。
- 第19章
近代以降顕著となってきた諸問題を解決するためには、世界史の理念や生活の目標の変更が迫られていることを認識する。

世界史 文系 (5単位)

		単元名	内容	時間数
前	4月	第9章 近代ヨーロッパ世界の形成	教科書P.162~P.233 ルネサンス、ヨーロッパ世界の海外進出、宗教改革、西ヨーロッパ絶対王政の盛衰、東ヨーロッパ絶対王政と近代化政策、イギリス「第一帝国」の成立と資本主義的世界体制、17~18世紀のヨーロッパ文化	(文系) 55
	5月	第10章 アジア諸国の繁栄	トルコ・イランのイスラーム国家、ムガル帝国と東南アジア、中華帝国と李朝、東南アジア・東アジア諸国の交流	
期	6月 前半	第11章 大西洋革命の展開	アメリカ独立革命、フランス革命とヨーロッパの変動、産業革命と資本主義的世界体制	(文系) 45
	6月 後半	第1回考査		
後	7月 前半	第12章 19世紀のヨーロッパ・アメリカ世界	教科書P.234~P.313 ウィーン体制と1848年の諸革命、1848年から1870年前後のヨーロッパ世界、19世紀の南北アメリカ世界、19世紀のヨーロッパ・アメリカの文化と第2次産業革命	(文系) 55
	8月 後半	第13章 19世紀のアジア・アフリカ世界	西アジア・アフリカの変動と改革、インドの植民地化、東南アジアの植民地化、東アジアの変動と改革	
	9月	第14章 帝国主義の時代	帝国主義の成立、ヨーロッパと南北アメリカ、世界分割の進行、東アジアの分割と革命、帝国主義時代の国際対立	
		第15章 第一次世界大戦と世界の変動	第一次世界大戦、ロシア革命、ヴェルサイユ体制、民族運動の新展開	
期	10月	第16章 ファシズムと第二次世界大戦	教科書P.314~P.369 世界恐慌とファシズム、日中戦争の展開と東アジア、第二次世界大戦、	(文系) 55
	11月	第17章 冷戦の時代	戦後の変容と冷戦の展開、アジア・アフリカの独立と革命、冷戦の緩和と平和共存の模索、中ソ対立とヴェトナム戦争、冷戦時代の日本	
後	12月 前半	第18章 冷戦の終結	アメリカとソ連、東ヨーロッパ社会主義圏の崩壊、ヨーロッパ統合の進展、ラテンアメリカとオセアニア、アジア社会主義国と東南アジアの変容、ゆるる西アジア・アフリカ	(文系) 20
	12月 後半	第19章 現代の課題 センタ - 演習	平和と繁栄を求めて、現代の科学と文化、日本の進路	
	1月 前半	第3回考査		(文系) 20
	1月 後半 2月	センタ - 演習及び二次対策	センター試験などの傾向分析に基づいて問題演習を行います。	

学習のねらい

第9章

ルネサンス 大航海 宗教改革がヨーロッパの近代化に果たした意義と、世界の一体化の始まりを理解する。
西欧諸国の絶対王政の構造と特色、 啓蒙専制君主が出現した東欧諸国の絶対主義の特色とその歴史的意義を把握する。
ヨーロッパの世界進出と植民地争奪戦の経過を把握し、イギリスが最終的に勝利した理由と意義を考察する。
絶対主義時代の宮廷文化とともに、科学革命の意義について考察し、近代社会に大きな影響を与えた自然法思想や啓蒙思想などの諸思想について理解する。

第10章

ティムール帝国・オスマン帝国 ムガル帝国のイスラームの大帝国の繁栄とその影響を明らかにする。
明帝国の経済的発展・女真族の清帝国の中国支配と繁栄、および李氏朝鮮の発展、 アジアの周辺諸国の動向について学習する。

第11章

市民革命としてのアメリカ独立革命、 フランス革命と、ナポレオンによるヨーロッパの変革の意義を理解する。
産業革命による資本主義社会の確立と、資本主義の世界体制の形成について理解する。

第12章

ウィーン体制に対する自由主義の戦いとその勝利に至る過程を学習する。
19世紀後半における国民主義の進展と国民国家の成立について理解する。
19世紀のアメリカ合衆国の発展と南北戦争の意義を理解する。
資本主義市民社会の発展を背景として19世紀欧米文化の展開と意義を理解する。

第13章

ヨーロッパ資本主義の進出による西アジア・アフリカの植民地化とそれに対する民族的抵抗と変革の動きを理解する。
同じくインドの植民地化と抵抗、 東南アジアの植民地化、 中国への進出と抵抗や変革の動きを理解する。

第14章

独占資本主義の発達により19世紀末から帝国主義時代に入ることを把握する。
欧米諸国の帝国主義化と各国の帝国主義政策の特色を理解する。
帝国主義諸国によるアフリカ・中国・太平洋地域の分割の状況、および 20世紀初め頃の義和団事件や辛亥革命など、反帝国主義の民族運動や変革運動の展開を把握する。
帝国主義の世界分割・再分割競争が三国同盟・三国協商を軸とした二大陣営の対立へと発展することを理解する。

第15章

第一次世界大戦の帝国主義戦争、総力戦としての性格を把握する。
ロシア革命によって社会主義ソヴィエト政権が誕生する経過と意義を理解する。
第一次世界大戦後のヴェルサイユ体制・ワシントン体制による国際秩序を把握する。
第一次世界大戦後の民族運動をガンディーの非暴力・不服従運動、中国国民革命などを中心に理解する。

第16章

世界恐慌が戦間期の国際秩序に危機をもたらし、ファシズムの台頭による新たな危機を生み出したことを理解する。
日本の侵略による日中戦争の開始と、第2次国共合作による抵抗の戦いを把握する。
第二次世界大戦の性格と経過、影響について理解し、平和の意義を考える。

第17章

第二次世界大戦後の米ソを中心とする東西両陣営の構造を理解する。
アジア・アフリカ諸国の独立と第三勢力としての登場の経過と意義を理解する。
1950年代後半期の緊張緩和と平和共存への動きの過程とその背景を把握する。
1960年代からの中ソ対立やヴェトナム戦争による米国の威信の低下、欧州の統合への動きなど、世界の多極化の動きを把握する。
冷戦中に日本は西側陣営に入り、急激な経済発展を遂げたことを把握する。

第18章

1989年マルタ会談による冷戦の終結にいたる米ソの動向を把握する。
1989年のベルリンの壁崩壊と東欧諸国の民主化により東欧社会主義政権が崩壊していったことを理解する。
ヨーロッパ諸国は、ヨーロッパ連合（EU）結成へと進み、さらに東欧諸国も吸収しつつあることを理解する。
ラテン=アメリカ、オセアニア地域でも進む地域・経済協力関係について理解する。
社会主義市場経済へと転換した中国が急激な経済発展とともに、東アジアにおける指導力を発揮しつつあることを理解する。
パレスチナ問題、イラク戦争など各地の地域紛争や現代の戦争の原因や歴史的背景を考察する。

第19章

近代以降顕著となってきた諸問題を解決するためには、世界史の理念や生活の目標の変更が迫られていることを認識する。

世界史 文系 (3単位)

		単元名	内容	時間数
前	4月	第9章 近代ヨーロッパ世界の形成	教科書P.162~P.233 ルネサンス、ヨーロッパ世界の海外進出、宗教改革、西ヨーロッパ絶対王政の盛衰、東ヨーロッパ絶対王政と近代化政策、イギリス「第一帝国」の成立と資本主義的世界体制、17~18世紀のヨーロッパ文化	(文系) 26
	5月	第10章 アジア諸国の繁栄	トルコ・イランのイスラーム国家、ムガル帝国と東南アジア、中華帝国と李朝、東南アジア・東アジア諸国の交流	
期	6月 前半	第11章 大西洋革命の展開	アメリカ独立革命、フランス革命とヨーロッパの変動、産業革命と資本主義的世界体制	(文系) 25
	6月 後半	第11章 大西洋革命の展開	アメリカ独立革命、フランス革命とヨーロッパの変動、産業革命と資本主義的世界体制	
期	7月 前半	第1回考査		(文系) 25
	7月 後半	第12章 19世紀のヨーロッパ・アメリカ世界	教科書P.234~P.313 ウィーン体制と1848年の諸革命、1848年から1870年前後のヨーロッパ世界、19世紀の南北アメリカ世界、19世紀のヨーロッパ・アメリカの文化と第2次産業革命	
期	8月	第13章 19世紀のアジア・アフリカ世界	西アジア・アフリカの変動と改革、インドの植民地化、東南アジアの植民地化、東アジアの変動と改革	(文系) 25
	8月 後半	第14章 帝国主義の時代	帝国主義の成立、ヨーロッパと南北アメリカ、世界分割の進行、東アジアの分割と革命、帝国主義時代の国際対立	
期	9月	第15章 第一次世界大戦と世界の変動	第一次世界大戦、ロシア革命、ヴェルサイユ体制、民族運動の新展開	(文系) 25
	9月	第2回考査		
後	10月	第16章 ファシズムと第二次世界大戦	教科書P.314~P.369 世界恐慌とファシズム、日中戦争の展開と東アジア、第二次世界大戦、	(文系) 25
	11月	第17章 冷戦の時代	戦後の変容と冷戦の展開、アジア・アフリカの独立と革命、冷戦の緩和と平和共存の模索、中ソ対立とヴェトナム戦争、冷戦時代の日本	
期	12月 前半	第18章 冷戦の終結	アメリカとソ連、東ヨーロッパ社会主義圏の崩壊、ヨーロッパ統合の進展、ラテンアメリカとオセアニア、アジア社会主義国と東南アジアの変容、ゆるる西アジア・アフリカ	(文系) 25
	12月 後半	第19章 現代の課題 センタ - 演習	平和と繁栄を求めて、現代の科学と文化、日本の進路	
期	1月 前半	第3回考査		(文系) 10
	1月 後半	センタ - 演習及び二次対策	センター試験などの傾向分析に基づいて問題演習を行います。	
	2月			

学習のねらい

第9章

ルネサンス 大航海 宗教改革がヨーロッパの近代化に果たした意義と、世界の一体化の始まりを理解する。
西欧諸国の絶対王政の構造と特色、 啓蒙専制君主が出現した東欧諸国の絶対主義の特色とその歴史的意義を把握する。
ヨーロッパの世界進出と植民地争奪戦の経過を把握し、イギリスが最終的に勝利した理由と意義を考察する。
絶対主義時代の宮廷文化とともに、科学革命の意義について考察し、近代社会に大きな影響を与えた自然法思想や啓蒙思想などの諸思想について理解する。

第10章

ティムール帝国・オスマン帝国 ムガル帝国のイスラームの大帝国の繁栄とその影響を明らかにする。
明帝国の経済的発展・女真族の清帝国の中国支配と繁栄、 および李氏朝鮮の発展、 アジアの周辺諸国の動向について学習する。

第11章

市民革命としてのアメリカ独立革命、 フランス革命と、ナポレオンによるヨーロッパの変革の意義を理解する。
産業革命による資本主義社会の確立と、資本主義の世界体制の形成について理解する。

第12章

ウィーン体制に対する自由主義の戦いとその勝利に至る過程を学習する。
19世紀後半における国民主義の進展と国民国家の成立について理解する。
19世紀のアメリカ合衆国の発展と南北戦争の意義を理解する。
資本主義市民社会の発展を背景として19世紀欧米文化の展開と意義を理解する。

第13章

ヨーロッパ資本主義の進出による西アジア・アフリカの植民地化とそれに対する民族的抵抗と変革の動きを理解する。
同じくインドの植民地化と抵抗、 東南アジアの植民地化、 中国への進出と抵抗や変革の動きを理解する。

第14章

独占資本主義の発達により19世紀末から帝国主義時代に入ることを把握する。
欧米諸国の帝国主義化と各国の帝国主義政策の特色を理解する。
帝国主義諸国によるアフリカ・中国・太平洋地域の分割の状況、 および 20世紀初め頃の義和団事件や辛亥革命など、反帝国主義の民族運動や変革運動の展開を把握する。
帝国主義の世界分割・再分割競争が三国同盟・三国協商を軸とした二大陣営の対立へと発展することを理解する。

第15章

第一次世界大戦の帝国主義戦争、総力戦としての性格を把握する。
ロシア革命によって社会主義ソヴィエト政権が誕生する経過と意義を理解する。
第一次世界大戦後のヴェルサイユ体制・ワシントン体制による国際秩序を把握する。
第一次世界大戦後の民族運動をガンディーの非暴力・不服従運動、中国国民革命などを中心に理解する。

第16章

世界恐慌が戦間期の国際秩序に危機をもたらし、ファシズムの台頭による新たな危機を生み出したことを理解する。
日本の侵略による日中戦争の開始と、第2次国共合作による抵抗の戦いを把握する。
第二次世界大戦の性格と経過、影響について理解し、平和の意義を考える。

第17章

第二次世界大戦後の米ソを中心とする東西両陣営の構造を理解する。
アジア・アフリカ諸国の独立と第三勢力としての登場の経過と意義を理解する。
1950年代後半期の緊張緩和と平和共存への動きの過程とその背景を把握する。
1960年代からの中ソ対立やヴェトナム戦争による米国の威信の低下、欧州の統合への動きなど、世界の多極化の動きを把握する。
冷戦中に日本は西側陣営に入り、急激な経済発展を遂げたことを把握する。

第18章

1989年マルタ会談による冷戦の終結にいたる米ソの動向を把握する。
1989年のベルリンの壁崩壊と東欧諸国の民主化により東欧社会主義政権が崩壊していったことを理解する。
ヨーロッパ諸国は、ヨーロッパ連合（EU）結成へと進み、さらに東欧諸国も吸収しつつあることを理解する。
ラテン=アメリカ、オセアニア地域でも進む地域・経済協力関係について理解する。
社会主義市場経済へと転換した中国が急激な経済発展とともに、東アジアにおける指導力を発揮しつつあることを理解する。
パレスチナ問題、イラク戦争など各地の地域紛争や現代の戦争の原因や歴史的背景を考察する。

第19章

近代以降顕著となってきた諸問題を解決するためには、世界史の理念や生活の目標の変更が迫られていることを認識する。

日本史B 普通コース [理系]・創造表現コース

		単元名	使用教科書項目(山川出版社『詳説日本史』)	時間数
前	4月	第4章 中世社会の成立	2 鎌倉幕府の成立 3 武士の社会 4 蒙古襲来と幕府の衰退 5 鎌倉文化	3 6
	5月	第5章 武家社会の成長	1 室町幕府の成立 2 幕府の衰退と庶民の台頭 3 室町文化 4 戦国大名の登場	
	6月	第6章 幕藩体制の確立	1 織豊政権 2 桃山文化 3 幕藩体制の成立	
	第1回考査		テスト返却・自己評価	
期	7月	第7章 幕藩体制の展開	1 幕政の安定 2 経済の発展 3 元禄文化	3 6
	8月	第8章 幕藩体制の動揺	1 幕政の改革 2 幕府の衰退 3 化政文化	
	9月	第9章 近代国家の成立	1 開国と幕末の動乱 2 明治維新と富国強兵 3 立憲国家の成立と日清戦争 4 日露戦争と国際関係 5 近代産業の発展 6 近代文化の発達	
	第2回考査		テスト返却・自己評価	
後	10月	第10章 近代日本とアジア	1 第一次世界大戦と日本 2 ワシントン体制 3 市民文化 4 恐慌の時代 5 軍部の台頭 6 第二次世界大戦	3 6
	11月	第11章 占領下の日本	1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和	
		第12章 高度成長の時代	1 55年体制 2 経済復興から高度成長へ	
	12月	第13章 激動する世界と日本	1 経済大国への道 2 冷戦終結と日本社会の動揺	
		第3回考査	テスト返却・自己評価	
	1月 2月 3月	センター試験対策演習	センター試験自己評価 年間自己評価・授業評価	3 2

平成19(2007)年

学習のねらい・目標
<ul style="list-style-type: none"> ・ 承久の乱後に公武二元政権から武家単独政権となり、執権政治が確立・進展・変質していくことをとらえる。 ・ 鎌倉武士の生活と、荘園経済の発達および地頭による荘園侵略の経緯を明らかにする。 ・ 元寇の背景・経過・結果を、東アジア世界の動向から資料・年表等を利用して歴史的に考察する。 ・ 貨幣経済の進展や元寇を契機とした御家人制度の崩壊が、鎌倉幕府の衰亡の要因となったことを理解する。 ・ 公家文化と武家文化を対比させながら、鎌倉文化の特質を考察する。 ・ 武士・庶民の台頭や社会不安を背景として、平易な教義を特徴とする鎌倉新仏教が成立したことを理解する。 ・ 建武の新政と南北朝の動乱を政治・社会的事象から考察し、室町幕府の基盤への影響を考察する。

- ・ 諸産業の発達などを背景に庶民が台頭したこと、応仁の乱後の下剋上の風潮を背景に戦国大名が各地に登場し、領国の経済発展と軍事力強化をはかったことを多面的に考察し理解する。
- ・ 武家政権の支配の進展や庶民の台頭、東アジア世界との交流に着目し、武家文化と公家文化のかかわりや庶民文化の萌芽、地方での文化の普及の様相を理解する。
- ・ ヨーロッパ人の来航と外来文化の受容がそれ以降の日本の歴史に果たした役割や意義を考察する。
- ・ 織田信長・豊臣秀吉の統一過程をとらえるとともに、検地や刀狩などを中心に全国的な支配体制を確立する一方で、朝鮮侵略に至る秀吉の対外政策についても明らかにする。
- ・ 徳川家康から家光に至る治世に確立した幕藩体制と対外政策を構造的にとらえるとともに、大名などの統制のあり方や鎖国制の実態について考える。
- ・ 土農工商の身分制度の実態を明らかにするとともに、農村や都市での自治支配機構の諸相について理解する。

- ・ 文治政治への転換に至った背景をとらえるとともに、幕政の展開をその問題点とともに理解する。
- ・ 農業や諸産業の発達と交通網の整備によって、全国的な商品流通経済が確立したことをとらえる。
- ・ 経済の発達や、農民の階層分化を促進し、それが幕藩体制動揺の一因となったことを理解する。
- ・ 元禄文化の特色とその担い手について、当時の社会・経済の発展と関連させて理解する。
- ・ 朱子学が幕府官学として発達したことと、その批判としての陽明学・古学などが発達したことを理解する。
- ・ 封建経済・領主財政の再建をはかった幕府・諸藩の改革が、かえって農村を疲弊させ、農民や都市下層民の抵抗をまねき、封建社会の危機を深めたことを理解する。
- ・ 欧米列強のアジア進出とその対応の変化が幕藩体制や鎖国制に及ぼした影響について考察する。
- ・ 江戸中・後期における町人文化の形成とその諸相、学問・思想の新たな展開を理解する。
- ・ 開国の世界史的背景に留意しながら、開国の衝撃を契機として幕末の政治的激動が進行した過程を理解する。
- ・ 討幕派の形成から幕府の滅亡に至る政治過程と、明治政府による中央集権体制の確立過程について理解する。
- ・ 立憲政治をめぐる自由民権運動と藩閥政府との対抗関係の歴史を考察し、成立した大日本帝国憲法下の政治体制の特質を理解する。
- ・ 日清・日露の両戦争を世界史的背景をもとに理解し、この間に進行した政治構造の変化について考察する。
- ・ 本格的な資本主義経済が成立したことを理解するとともに、多くの社会問題が発生したことを理解する。
- ・ 欧米文化の模倣と導入から始まった近代文化の展開を、様々な分野から考察する。

- ・ 第一次世界大戦の原因と経過、その世界史的意義をとらえ、大戦が日本の社会・経済に及ぼした影響について考察する。
- ・ 大正期の政党政治の成立過程を理解するとともに、党内閣の内外の課題への対応について理解する。
- ・ 都市化と中産階級の成長を背景に成立した市民文化の独自性について、具体的事例に即して理解を深める。
- ・ 恐慌による日本経済への打撃のなか、しだいに軍部や右翼が台頭したことを理解する。
- ・ 満州事変が日本の国際的孤立を招いたと同時に、政党政治が終焉して軍国主義への道に進む契機となったことを理解する。
- ・ 軍国主義化が進展する中で日中戦争が勃発し、戦争の長期化が軍国主義のもとで総動員体制を進行させたことと枢軸体制の形成に向かわせたことについて理解を深める。
- ・ 太平洋戦争の開戦に至る経緯を国際情勢とあわせて理解し、戦争の現実について考察する。
- ・ 非軍事化と民主化を要とする占領政策が戦後日本の政治・社会・経済の基礎を築いたこと、国民が積極的に受け入れることによって戦後改革が実現したことを理解する。
- ・ 冷戦構造の深まりが占領政策を転換させ、サンフランシスコ平和条約と日米安保条約によって現在まで及ぶ戦後日本の対外関係の基軸が成立したことを理解する。
- ・ 高度経済成長をとげる過程で日本社会が大きく変貌したこと、アメリカのアジア政策に協力することによって日本は国際的地位を高めたことについて理解する。
- ・ 高度経済成長の終わりとともに、経済摩擦などの新たな課題が生まれ、55年体制の崩壊に至る政治構造の変化が生じたことを考察する。
- ・ 冷戦構造の崩壊による流動的な世界情勢が生まれる中で、21世紀の日本が直面している多くの課題があることについて理解を深める。

・ センター試験対策演習を通じて、歴史的事象を多面的・多角的にとらえられるような、歴史的な見方や考え方を身につける。

・ 1年間の学習を振り返り、日本史の展開を世界史的視野に立って総合的に考察できたか、日本の文化と伝統の特色について認識を深めることができたか、歴史的思考力を培うことができたかを総括する。

日本史B 普通コース [文系]

	単元名	使用教科書項目(山川出版社『詳説日本史』)	時間数
4月	第5章 武家社会の成長	2 幕府の衰退と庶民の台頭 3 室町文化 4 戦国大名の登場	
5月	第6章 幕藩体制の確立	1 織豊政権	

前	6月	第7章 幕藩体制の展開	2 桃山文化 3 幕藩体制の確立 1 幕政の安定 2 経済の発展 3 元禄文化	4 5
	第1回考査		テスト返却・自己評価	
期	7月	第8章 幕藩体制の動揺	1 幕政の改革 2 幕政の衰退 3 化政文化	4 5
	8月	第9章 近代国家の成立	1 開国と幕末の動乱	
	9月		2 明治維新と富国強兵 3 立憲国家の成立と日清戦争 4 日露戦争と国際関係	
第2回考査		テスト返却・自己評価		
後	10月	第10章 近代日本とアジア	5 近代産業の発展 6 近代文化の発達 1 第一次世界大戦と日本 2 ワシントン体制 3 市民文化 4 恐慌の時代 5 軍部の台頭 6 第二次世界大戦	4 5
	11月		1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和	
	12月	第11章 占領下の日本	1 55年体制 2 経済復興から高度成長へ	
		第12章 高度成長の時代	1 経済大国への道 2 冷戦終結と日本社会の動揺	
	第3回考査		センター試験対策演習	
期	1月	センター試験対策演習	センター試験自己評価	4 0
	2月 3月	国公立大学個別試験演習 私立大学入試対策演習	自己評価・授業評価	

平成19(2007)年

学習のねらい・目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 武家政権の支配の進展や庶民の台頭、東アジア世界との交流に着目し、武家文化と公家文化のかかわりや庶民文化の萌芽、地方での文化の普及の様相を理解する。 ・ 下剋上の風潮を背景に戦国大名が各地に登場し、領国の経済発展と軍事力強化をはかったことを理解する。 ・ ヨーロッパ人の来航と外来文化の受容がそれ以降の日本の歴史に果たした役割や意義を考察する。 ・ 織田信長・豊臣秀吉の統一過程をとらえるとともに、検地や刀狩などを中心に全国的な支配体制を確立する一方で、朝鮮侵略に至る秀吉の対外政策についても明らかにする。 ・ 桃山文化の特色が、雄大・豪壮で現世享樂的な面を持ち、宗教的色彩が薄れていたことを理解する。 ・ 徳川家康から家光に至る治世に確立した幕藩体制と対外政策を構造的にとらえるとともに、大名などの統制 	

のあり方や鎖国制の実態について考える。

- ・ 土農工商の身分制度の実態を明らかにするとともに、農村や都市での自治支配機構の諸相について理解する。
- ・ 文治政治への転換に至った背景をとらえるとともに、幕政の展開をその問題点とともに理解する。
- ・ 農業や諸産業の発達と交通網の整備によって、全国的な商品流通経済が確立したことをとらえる。
- ・ 経済の発達、農民の階層分化を促進し、それが幕藩体制動揺の一因となったことを理解する。
- ・ 元禄文化の特色とその担い手について、当時の社会・経済の発展と関連させて理解する。
- ・ 朱子学が幕府官学として発達したことと、その批判としての陽明学・古学などが発達したことを理解する。
- ・ 人形浄瑠璃や歌舞伎に加え、美術・工芸においても町人に支えられた文化が展開していたことを把握する。

- ・ 封建経済・領主財政の再建をはかった幕府・諸藩の改革が、かえって農村を疲弊させ、農民や都市下層民の抵抗をまねき、封建社会の危機を深めたことを理解する。
- ・ 欧米列強のアジア進出とその対応の変化が幕藩体制や鎖国制に及ぼした影響について考察する。
- ・ 幕政改革の失敗に対し、同時期の改革に成功した西南雄藩が幕末政局の主導権を握っていくことを展望する。
- ・ 江戸の中・後期における町人文化の形成とその諸相、学問・思想の新たな展開に注目して、幕藩体制の動揺と近代化への道のりについてとらえる。
- ・ 日本開国の世界史的背景に留意しながら、開国の衝撃を契機として幕末の政治的激動が進行した過程を理解する。
- ・ 討幕派の形成から幕府の滅亡に至る政治過程と、明治新政府による中央集権体制の確立過程について理解する。
- ・ 藩閥専制政府のもとで実行された一連の近代化政策の意義を、その問題点とあわせて考察する。
- ・ 立憲政治をめぐる自由民権運動と藩閥政府との対抗関係の歴史を考察し、成立した大日本帝国憲法下の政治体制の特質を理解する。
- ・ 朝鮮植民地化の政策と国内の政治的行き詰まりを打開するために、日清戦争が開始されたことを理解する。

- ・ 日清・日露の両戦争を世界史的背景をもとに理解し、この間に進行した政治構造の変化について考察する。
- ・ 本格的な資本主義経済が成立したことを理解するとともに、多くの社会問題が発生したことを理解する。
- ・ 欧米文化の模倣と導入から始まった日本の近代文化がどのように展開したのかを、様々な分野について考察する。
- ・ 第一次世界大戦の原因と経過、その世界史的意義をとらえ、大戦が日本の社会・経済に及ぼした影響について考察する。
- ・ 大正期の政党政治の成立過程を理解するとともに、政党内閣の内外の課題への対応について理解する。
- ・ 都市化と中産階級の成長を背景に成立した市民文化の独自性について、具体的事例に即して理解を深める。
- ・ 恐慌による日本経済への打撃のなか、しだいに軍部や右翼が台頭したことを理解する。
- ・ 満州事変が日本の国際的孤立を招いたと同時に、政党政治が終焉して軍国主義への道に進む契機となったことを理解する。
- ・ 軍国主義化が進展する中で日中戦争が勃発し、戦争の長期化が軍国主義のもとで総動員体制を進行させたことと枢軸体制の形成に向かわせたことについて理解を深める。
- ・ 太平洋戦争の開戦に至る経緯を国際情勢とあわせて理解し、戦争の現実について考察する。
- ・ 非軍事化と民主化を要とする占領政策が戦後日本の政治・社会・経済の基礎を築いたこと、国民が積極的に受け入れることによって戦後改革が実現したことを理解する。
- ・ 冷戦構造の深まりが占領政策を転換させ、サンフランシスコ平和条約と日米安保条約によって現在まで及ぶ戦後日本の対外関係の基軸が成立したことを理解する。
- ・ 高度経済成長をとげる過程で日本社会が大きく変貌したこと、アメリカのアジア政策に協力することによって日本は国際的地位を高めたことについて理解する。
- ・ 高度経済成長の終わりとともに、経済摩擦などの新たな課題が生まれ、55年体制の崩壊に至る政治構造の変化が生じたことを考察する。
- ・ 冷戦構造の崩壊による流動的な世界情勢が生まれる中で、21世紀の日本が直面している多くの課題があることについて理解を深める。

・ センター試験対策演習を通じて、歴史的事象を多面的・多角的にとらえられるような、歴史的な見方や考え方を身につける。

・ 1年間の学習を振り返り、日本史の展開を世界史的視野に立って総合的に考察できたか、日本の文化と伝統の特色について認識を深めることができたか、歴史的思考力を培うことができたかを総括する。

地理 B 理系

	単元名	学習する内容	時間数
4月	ヨーロッパ 東南アジア		
	第 部 グローバル化する		

前 期	5月	現代世界 1 グローバルに結びつく現代世界 国家と国家群 交通・通信 図法と地図の変遷 世界の貿易 第1回考査	国家の三要素、世界の独立国、国境 国際組織 交通機関の特徴、情報化社会、時差 正積図法、正角図法、正距方位図法 地図の変遷 世界の貿易事情、貿易摩擦 日本の貿易	3 6
	6月	2. 近隣諸国の研究 中国 ロシア 3. 地図でとらえる現代世界 4. 地域区分でとらえる現代世界	中国の自然・文化・産業、日本との関係 ロシアの自然・文化・産業、日本との関係 階級区分図の作成、南北問題	3 6
	7月	アフリカ ラテンアメリカ	地域区分の方法 アフリカの自然・民族・産業 ラテンアメリカの自然・民族・産業 ブラジルの工業化	
	9月	日本 第2回考査	日本の社会構造、産業	
後 期	10月	第 部 地球的な課題 1. 人口・食料問題 世界の人口分布・人口動態 人口と食料需給 発展途上国の問題 先進国の問題	人口分布、人口動態、人口移動 食料需給 人口爆発、インドの人口問題 少子高齢化、日本の人口問題	3 6
	11月	2. 環境・エネルギー問題 世界の環境問題 環境問題への取り組み 地域開発 第3回考査	オゾン層、温暖化、酸性雨、熱帯林破壊 国際会議、ヒートアイランド 世界の地域開発、日本の地域開発	
	12月 1月 2月	3. 民族・領土問題 民族問題 領土問題	世界の人種・民族・言語 世界の民族・領土問題	3 2

学習のねらい

ECからEU成立までの過程や課題をみることで、ヨーロッパのめざす将来像について理解する。
東南アジアの宗教・旧宗主国分布で地域の特徴を理解し、ASEANを核とした経済発展について理解する。

国家を成立させる三要素の中でも、国境に焦点をあて、世界の自然的国境・人為的国境について

て学習する。
 世界の国際組織を、経済指標で図表化することで比較する。
 交通機関の特徴を理解する。情報化社会について考える。
 各図法の特徴、用途について理解する。
 各時代の地図はその時代の世界像を表すことを理解する。
 貿易事情について、地域別貿易、貿易摩擦などの観点から考える。
 日本の貿易品目の変化、貿易相手国について学習する。

経済発展著しい中国の社会の変化について、農業と工業、人口の面から考える。
 産業を通して、ソ連の解体からロシア成立、東ヨーロッパについて理解する。

G N P についての階級区分図を作成し、南北問題について考える。
 日本の都市を例に、機能地域について理解する。
 旧宗主国による社会の影響、モノカルチャー経済からくる問題点について考える。
 特徴ある人種・民族と累積債務の問題について理解する。
 ブラジルの工業化の過程について理解する。
 日本の人口問題・都市問題、農業や工業を取り巻く状況について理解する。

世界の1億人以上の国、人口ピラミッド、三角図表などにより、人口問題について考える。
 図表から食料需給の地域的差異について考える。
 人口爆発の起こった原因と結果、対策について理解する。
 少子高齢化の問題と対策、欧米と日本との差異について考える。

世界の環境問題について、図表や統計などから考察する。
 環境問題の国際会議について理解する。
 河川開発を中心に地域開発を理解する。経済優先から人間重視への流れを理解する。

人種や民族の定義を理解するとともに、それらが民族紛争の要因になっていることを理解する。
 また、紛争解決の方法について考える。

地理 B 文系

	単元名	学習する内容	時間数
4月	第 部 グローバル化する現代世界 1 グローバルに結びつく現代世界 国家と国家群	国家の三要素、世界の独立国、国境 国際組織	4 5
5月	交通・通信	交通機関の特徴、情報化社会、時差	

前 期	6月	<p>図法と地図の変遷</p> <p>世界の貿易</p> <p>2. 近隣諸国の研究</p> <p>中国</p> <p>ロシア</p> <p>第1回考査</p>	<p>正積図法、正角図法、正距方位図法</p> <p>地図の変遷</p> <p>世界の貿易事情、貿易摩擦</p> <p>日本の貿易</p> <p>中国の自然・文化・産業、日本との関係</p> <p>ロシアの自然・文化・産業、日本との関係</p>	
	7月	<p>3. 地図でとらえる現代世界</p> <p>4. 地域区分でとらえる現代世界</p> <p>アフリカ</p>	<p>階級区分図の作成</p> <p>南北問題</p> <p>地域区分の方法</p> <p>アフリカの自然・民族・産業</p>	4 5
	9月	<p>ラテンアメリカ</p> <p>日本</p> <p>第2回考査</p>	<p>ラテンアメリカの自然・民族・産業</p> <p>ブラジルの工業化</p> <p>日本の社会構造、産業</p>	
後 期	10月	<p>第部 地球的な課題</p> <p>1. 人口・食料問題</p> <p>世界の人口分布・人口動態</p> <p>人口と食料需給</p> <p>発展途上国の問題</p> <p>先進国の問題</p>	<p>人口分布、人口動態、人口移動</p> <p>食料需給</p> <p>人口爆発、インドの人口問題</p> <p>少子高齢化、日本の人口問題</p>	4 5
	11月	<p>2. 環境・エネルギー問題</p> <p>世界の環境問題</p> <p>環境問題への取り組み</p> <p>地域開発</p> <p>第3回考査</p>	<p>オゾン層、温暖化、酸性雨、熱帯林破壊</p> <p>国際会議、ヒートアイランド</p> <p>世界の地域開発、日本の地域開発</p>	
	12月	<p>3. 民族・領土問題</p> <p>民族問題</p>	<p>世界の人種・民族・言語</p> <p>世界の民族・領土問題</p>	4 0
	1月	<p>領土問題</p>		
2月				
	3月			

学習のねらい

国家を成立させる三要素の中でも、国境に焦点をあて、世界の自然的国境・人為的国境について学習する。
 世界の国際組織を、経済指標で図表化することで比較する。
 交通機関の特徴を理解する。情報化社会について考える。

各図法の特徴、用途について理解する。
 各時代の地図はその時代の世界像を表すことを理解する。
 貿易事情について、地域別貿易、貿易摩擦などの観点から考える。
 日本の貿易品目の変化、貿易相手国について学習する。

経済発展著しい中国の社会の変化について、農業と工業、人口の面から考える。
 産業を通して、ソ連の解体からロシア成立、東ヨーロッパについて理解する。

G N P についての階級区分図を作成し、南北問題について考える。

日本の都市を例に、機能地域について理解する。

旧宗主国による社会の影響、モノカルチャー経済からくる問題点について考える。

特徴ある人種・民族と累積債務の問題について理解する。
 ブラジルの工業化の過程について理解する。
 日本の人口問題・都市問題、農業や工業を取り巻く状況について理解する。

世界の1億人以上の国、人口ピラミッド、三角図表などにより、人口問題について考える。
 図表から食料需給の地域的差異について考える。
 人口爆発の起こった原因と結果、対策について理解する。
 少子高齢化の問題と対策、欧米と日本との差異について考える。

世界の環境問題について、図表や統計などから考察する。
 環境問題の国際会議について理解する。
 河川開発を中心に地域開発を理解する。経済優先から人間重視への流れを理解する。

人種や民族の定義を理解するとともに、それらが民族紛争の要因になっていることを理解する。
 また、紛争解決の方法について考える。

倫理（文系・理系）

	単元名	学習する内容	時間数
4月	青年期の課題と自己形成	<ul style="list-style-type: none"> 青年期の意義 ...人間とは何か、青年期の位置づけ、青年期の特徴 青年期の課題と生き方 ...主体性の確立、自己理解、幸福と生きがい 	文 27 理 36
5月	人間らしく生きる	<ul style="list-style-type: none"> 哲学と人間 ...哲学すること、ギリシャの思想、中国の思想 宗教と人間 ...宗教をどう考えるか、キリスト教、イスラーム、 	

前期	6月	<第1回考査>	<ul style="list-style-type: none"> 仏教 ・芸術と人間 	
	7月	国際社会に生きる日本人の自覚	<ul style="list-style-type: none"> ・日本人の精神風土 ...日本人のものの考え方、日本人の宗教観、日本人の倫理観 ・外来思想と日本の伝統思想 ...仏教と日本人の思想形成、儒教の日本的展開 ・西洋思想と日本人の近代化 ...近代への啓蒙、近代的な自己の確立、創造的な思想 ・国際社会の生きる日本人の自覚 ...戦後思想の動向、国際社会での日本人 	文 2 7 理 3 6
	9月	<第2回考査>		
後期	10月	現代を生きる人間の倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳 ...人間尊重へ向けて、合理的精神の確立、社会契約説、人格の尊厳～カント～ ・民主社会の倫理 ...ヘーゲルの人倫の思想、功利主義、社会主義思想、プラグマティズム ・新たな人間像の模索 ...主体性の回復をもとめて、現代の実存哲学、フランクフルト学派、構造主義 ・自然や科学技術と人間のかかわり ...近代的自然観、自然との調和 ・民主社会の成熟のために ...差別と偏見のない社会、社会参加と奉仕 	文 2 7 理 3 6
	11月	現代の課題を考える	<ul style="list-style-type: none"> 生命倫理 環境と環境倫理 変容する家族 情報社会の中の人間 グローバル化する社会の中の人間 豊かな社会とは何か 	
	12月	<第3回考査>		
	1月	センター試験		文 2 4 理 3 2
	2月	入試対策演習		
	3月			

平成19(2007)年

学習のねらい
<p>「倫理」の全学習を通して、現代社会に生きる人間としての世界観、人生観さらに具体的な生き方についての探求していくこととなります。日頃から新聞などのメディアを活用して社会の出来事に関心を向け、「どうすべきか」、「自分ならどうするか」を考えてみましょう。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 5～68 ページ ・資料集 12～76 ページ ・単元「青年期の課題と自己形成」に関する内容は、青年期を生きるみなさんにとって関心を

持ちやすい内容でしょう。また、1年次の「現代社会」ですでに学習した内容と重複している部分が多いので、理解しやすいでしょう。

- ・教科書 69～120ページ
- ・資料集 159～221ページ
- ・単元「国際社会に生きる日本人の自覚」では、主に仏教伝来以前の日本人の考え方から、ヨーロッパの思想を導入した明治・大正時代までの日本人の考え方を学習します。日本人が外来思想をどのように受容したかを通して、日本人の考え方の特徴を学習します。

- ・教科書 121ページ～176ページ
- ・資料集 77～158ページ
- ・単元「現代を生きる人間の倫理」では、現代の政治、経済、文化の基礎となった考え方について理解します。理解しにくい考え方もあるかもしれませんが、資料集や用語集を活用して理解に努めましょう。

- ・教科書 177ページ～201ページ
- ・資料集 2～35ページ
- ・単元「現代の課題を考える」では、「生命倫理」の問題や「変容する家族」の問題などを取り上げ、現代社会で自己が抱えている倫理的課題を理解するとともに、それらの課題を解決するためにどのようなことが必要かを考えましょう。
また、「環境倫理」の問題などを取り上げ、グローバル化する社会の中で他者とどのように解決するかを考えましょう。

政治・経済（文 ・ 理系）

	単元名	学習する内容	時間数
前	現代の政治 民主主義の基本原則 日本国憲法の基本原則	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民主政治の特質、法の支配と人権の確立、民主政治のしくみ、世界の主な政治体制 ・ 日本国憲法の制定と基本原則、基本的人権の保障、平和主義 	文 27 理 36

期	6月	日本の政治機構 現代政治の特質と課題 <第1回考査>	<ul style="list-style-type: none"> ・国会、内閣、裁判所、地方自治 ・世論とマスコミ、選挙と政治意識、政党政治と政治参加 		
	7月	現代の国際政治	<ul style="list-style-type: none"> ・国際政治の動向、国際関係と国際法、国際社会の組織化、国際政治の課題、地球環境問題と国際社会における日本の役割 	文27 理36	
	8月	現代の経済 経済社会の変容	<ul style="list-style-type: none"> ・資本主義体制の成立と発展、社会主義経済の登場と変容、現代の資本主義経済 		
9月	現代経済のしくみ <第2回考査>	<ul style="list-style-type: none"> ・経済主体と経済の循環、市場経済の機能と限界、国民所得と経済成長、資金の循環と金融、租税と財政 			
後 期	10月	日本経済の発展と福祉の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・日本経済の発展、中小企業の問題、農業、食料問題、公害防止と環境保全、消費者問題と消費者保護、労使関係と労働市場、社会保障と社会福祉 ・貿易と国際収支、経済対立と国際協調、国際経済における日本の役割 ・情報化は市民生活をどう変えるか？他 ・人種・民族問題をどうこえるか？他 ・センター対策演習 	文27 理36	
	11月	国民経済と国際経済 現代社会の諸課題 日本社会の諸課題			
	12月	国際社会の諸課題 センター試験過去問演習 <第3回考査>			
	冬休み補習 1月				
	2月	センター試験		<ul style="list-style-type: none"> ・時事問題解説 ・小論文指導 	文24 理32
	3月	個別入試対策など			

平成19(2007)年

学習のねらい
「政治・経済」の全内容を通じて、民主主義の意味や科学的な知識を学習しながら、現代の政治、経済、国際関係で起こる諸課題についてどう解決したらいいのかを考えていく。そのために、各人が積極的に新聞、テレビやインターネットなどを活用してみよう。
現代の政治 教科書6～91ページ 資料集22～191ページ

現代の日本の政治と国際政治の動きや諸課題について考えよう。このとき、基本的人権を尊重することの意義、そして民主政治の本質や制度について詳しく学習しよう。

現代の経済

教科書 92 ~ 167 ページ

資料集 193 ~ 314 ページ

現代の日本経済と世界経済の動きや諸課題について考えよう。このとき、現代経済の仕組みや特徴を詳しく学習しよう。

現代社会の諸課題

教科書 168 ~ 203 ページ

資料集 315 ~ 344 ページ

これまでに学習した知識をもとに、現代の政治や経済の抱える諸課題の解決の方法を追究してみよう。

政治・経済（文）

	単元名	学習する内容	時間数
前	現代の政治 民主主義の基本原則 日本国憲法の基本原則	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民主政治の特質、法の支配と人権の確立、民主政治のしくみ、世界の主な政治体制 ・ 日本国憲法の制定と基本原則、基本的人権の保障、平和主義 	18

期	6月	日本の政治機構 <第1回考査>	・国会、内閣、裁判所、地方自治	18
	7月 夏休み補習	現代政治の特質と課題 現代の国際政治	・世論とマスコミ、選挙と政治意識、政党政治と政治参加 ・国際政治の動向、国際関係と国際法、国際社会の組織化、国際政治の課題、地球環境問題と国際社会における日本の役割	
	8月 夏休み補習	現代の経済 経済社会の変容	・資本主義体制の成立と発展、社会主義経済の登場と変容、現代の資本主義経済	
	9月	現代経済のしくみ <第2回考査>	・経済主体と経済の循環、市場経済の機能と限界、国民所得と経済成長、資金の循環と金融、租税と財政	
後 期	10月	日本経済の発展と福祉の向上	・日本経済の発展、中小企業の問題、農業、食料問題、公害防止と環境保全、消費者問題と消費者保護、労使関係と労働市場、社会保障と社会福祉 ・貿易と国際収支、経済対立と国際協調、国際経済における日本の役割	18
	11月	国民経済と国際経済 現代社会の諸課題 日本社会の諸課題		
	12月	国際社会の諸課題 センター試験過去問演習 <第3回考査>		
	1月		・情報化は市民生活をどう変えるか？他 ・人種・民族問題をどうこえるか？他 ・センター対策演習	12
	2月	センター試験	・時事問題解説 ・小論文指導	
	3月	個別入試対策など		

平成19(2007)年

学習のねらい
「政治・経済」の全内容を通じて、民主主義の意味や科学的な知識を学習しながら、現代の政治、経済、国際関係で起こる諸課題についてどう解決したらいいのかを考えていく。そのために、各人が積極的に新聞、テレビやインターネットなどを活用してみよう。
現代の政治 教科書6～91ページ 資料集22～191ページ 現代の日本の政治と国際政治の動きや諸課題について考えよう。このとき、基本的人権を尊重

することの意義、そして民主政治の本質や制度について詳しく学習しよう。

現代の経済

教科書 92 ~ 167 ページ

資料集 193 ~ 314 ページ

現代の日本経済と世界経済の動きや諸課題について考えよう。このとき、現代経済の仕組みや特徴を詳しく学習しよう。

現代社会の諸課題

教科書 168 ~ 203 ページ

資料集 315 ~ 344 ページ

これまでに学習した知識をもとに、現代の政治や経済の抱える諸課題の解決の方法を追究してみよう。

政治・経済（創造表現）

	単元名	学習する内容	時間数
前	現代に生きる私達の課題 現代の政治 民主主義の基本原則 日本国憲法の基本原則 日本の政治機構	<ul style="list-style-type: none">・ 民主政治の特質、法の支配と人権の確立、民主政治のしくみ、世界の主な政治体制・ 日本国憲法の制定と基本原則、基本的人権の保障、平和主義・ 国会、内閣、裁判所、地方自治	36

期	6月	現代政治の特質と課題 < 第1回考査 >	・世論とマスコミ、選挙と政治意識、政党政治と政治参加	
	7月	現代の国際政治	・国際政治の動向、国際関係と国際法、国際社会の組織化、国際政治の課題、地球環境問題と国際社会における日本の役割	36
	8月	現代の経済 経済社会の変容	・資本主義体制の成立と発展、社会主義経済の登場と変容、現代の資本主義経済	
	9月	現代経済のしくみ < 第2回考査 >	・経済主体と経済の循環、市場経済の機能と限界、国民所得と経済成長、資金の循環と金融、租税と財政	
後期	10月	日本経済の発展と福祉の向上	・日本経済の発展、中小企業の問題、農業、食料問題、公害防止と環境保全、消費者問題と消費者保護、労使関係と労働市場、社会保障と社会福祉	36
	11月	国民経済と国際経済	・貿易と国際収支、経済対立と国際協調、国際経済における日本の役割	
		現代社会の諸課題	・情報化は市民生活をどう変えるか？他	
	12月	日本社会の諸課題	・人種・民族問題をどうこえるか？他	32
		国際社会の諸課題 センター試験過去問演習	・センター対策演習	
	1月	< 第3回考査 >		
2月	センター試験	・時事問題解説		
3月				

平成19(2007)年

学習のねらい

「政治・経済」の全内容を通じて、民主主義の意味や科学的な知識を学習しながら、現代の政治、経済、国際関係で起こる諸課題についてどう解決したらいいのかを考えていく。そのために、各人が積極的に新聞、テレビやインターネットなどを活用してみよう。

現代の政治

教科書6～91ページ

現代の日本の政治と国際政治の動きや諸課題について考えよう。このとき、基本的人権を尊重することの意義、そして民主政治の本質や制度について詳しく学習しよう。

現代の経済

教科書 92 ~ 167 ページ

現代の日本経済と世界経済の動きや諸課題について考えよう。このとき、現代経済の仕組みや特徴を詳しく学習しよう。

現代社会の諸課題

教科書 168 ~ 203 ページ

これまでに学習した知識をもとに、現代の政治や経済の抱える諸課題の解決の方法を追究してみよう。

数学演習(文型)

		単元名	学習する内容	時間数	
4月	式と計算	2次関数・方程式理論 最大・最小	数研出版「メジアン数学演習 A B」 p.4 ~ p.21	文系	理系
				15	
5月	不等式、式の値		数研出版 メジアン数学演習 A B p.22 ~ p.41	24	
	集合、順列・組合せ・確率				

前 期	9月	第1回考査	数研出版 メジアン数学演習 A B p.42 ~ p.59	1 5		
		平面幾何				
		図形と方程式				
		三角・指数・対数関数				数研出版 メジアン数学演習 A B P.60 ~ p.83
		微分法・積分法				数研出版 メジアン数学演習 A B P.84 ~ p.101
		ベクトル				
数列						
		第2回考査		1 5		
後 期	10月	センター対策演習 個別学力検査対策演習	自作プリントによる学習	2 0		
	11月	継続		2 4		
	12月	第3回考査		1 5		
	1月	継続	自作プリントによる学習	1 0		
	2月					
	3月					

数学 + A 創造表現コース

		単元名	学習する内容	時間数	
前	4月	数と式	自作プリントによる実践練習	文系	理系
		2次関数		1 5	
	5月	図形と計量		2 4	
		場合の数と確率			

期	6月	第1回考査 平面幾何	自作プリントによる実践練習	1	5
		図形と方程式			
	7月	三角・指数・対数関数		2	0
		微分法・積分法			
	9月	第2回考査		1	5
後 期	10月	センター対策演習	自作プリントによる学習	2	0
	11月	継続		2	4
	12月	第3回考査		1	5
	1月	継続	自作プリントによる学習	1	0
	2月 3月				

数学 ・ C

		単元名	学習する内容	時間数	
前	4月	数学 第5章 積分法 第1節 不定積分 第2節 定積分	教科書「数学」p.138~p.169 「サクシード数学 +C」p.62~p.79 「チャート式 数学 +C」p.170~p.224	文系	理系
					1 5
	5月	数学 第6章 積分法の応用	教科書「数学」p.170~p.191 「サクシード数学 +C」p.80~p.92 「チャート式 数学 +C」p.225~p.26		2 4

期	6月	第1回考査 数学C 第1章 行列 第1節 行列の演算 第2節 行列と連立1次方程式	9 教科書「数学C」P.7~p.48 「サクシード数学 +C」p.94~p.113 「チャート式 数学 +C」p.272~p.353	15
	7月	数学C 第2章 式と曲線 第1節 方程式と図形 第2節 媒介変数表示と極座標	教科書「数学C」P.49~p.94 「クリア数学 +C」p.114~p.135 「チャート式 数学 +C」p.354~p.415	20
	9月			15
		第2回考査		
後 期	10月	継続	チョイス新標準問題集数学 ・C スタンダード数学演習 ・ ・A・B (数研出版)	20
	11月			24
		第3回考査		15
	12月			
	1月			10
	2月			
	3月			

数学演習(理型)

		単元名	学習する内容	時間数	
4月	式と計算	2次関数・方程式理論 最大・最小	数研出版「スタンダード数学演習 A B」 p.4~p.21	文系	理系
					15
5月	不等式、式の値 集合、順列・組合せ・確率		数研出版 スタンダード数学演習 A B p.22~p.41	24	

前 期	6月	第1回考査 平面幾何	数研出版 スタンダート数学演習 A B p.42 ~ p.59	1 5
		図形と方程式		
	7月	三角・指数・対数関数	数研出版 スタンダート数学演習 A B P.60 ~ p.83	2 0
		微分法・積分法		
後 期	9月	ベクトル 数列	数研出版 スタンダート数学演習 A B P.84 ~ p.101	1 5
		第2回考査		
	10月	センター対策演習 個別学力検査対策演習	自作プリントによる学習	2 0
	11月	継続		2 4
	12月	第3回考査		1 5
	1月	継続	自作プリントによる学習	1 0
	2月			
	3月			

物理

		単元名	教材名	時間数
前 期	4月	物理 1. 電流と直流回路 2. 生活の中の電気	1. オームの法則 2. 抵抗の接続と電力 3. キルヒホッフの法則 1. 静電気 電流と磁場 交流と電波	1 2
	5月	物理 1編 力と運動 1. 力学	1. 二次元の運動の表し方 2. 力積と運動量保存 3. 相対運動と加速度系の力学	1 2
		物理 2. 円運動と万有引力	1. 等速円運動 2. 単振動	1 3

	6月		3. 万有引力	
	6月	2編 電気と磁気 1. 静電気	1. クーロンの法則 2. 静電誘導 3. 電場 4. コンデンサー	20
	7月	2. 磁界と電流	1. 磁場 2. 電流の作る磁場 3. 電磁力	5
	8月		4. ローレンツ力	
	9月	3. 電磁誘導と電磁波	1. 電磁誘導 2. 交流 3. 共振・電気振動 4. 電磁波	15
	9月			
	10月	3編 物質と原子 1. 原子分子の運動	1. 物質の3態 2. 気体分子運動 3. 内部エネルギー仕事 4. 熱機関と不可逆変化	12
後 期	11月	2. 原子電子と物質	1. 固体の性質 2. 電子と原子 3. 固体の性質と電子	課題演習 1. 等加速度運動 2. 力とつりあい 3. 運動の法則 4. 抵抗力を受ける運動 5. 熱と気体の法則 6. 波の性質 7. 音波 8. 光波
	12月	4編 原子と原子核 1. 量子論と原子の構造 2. 原子核と素粒子	1. 粒子性と波動性 2. 原子の構造 1. 原子核 2. 素粒子	
	12月			
	1月	物理のまとめ 1	物理 の総まとめと演習	17
	2月	物理のまとめ 2	物理 の総まとめと演習	24

家庭学習（課題問題番号）	学習の目標
267 269 270 271 272 274 275 277 278 280 284 285 287 288 289	・静電気では摩擦電気や静電誘導の現象を学習する。 ・電流では、導体内での電荷の移動を力学的に理解して、直流回路、キルヒホッフの法則などを学習する。 ・電流と磁場および交流と電波の定性的内容を学習する
60 72 70 73 74 82 83 89 90 91 93 94 95 297 301 304 311 319 320 329 330 333 334 335 336 321 322 325 326	・運動量保存則を中心に衝突現象を理解する。 ・相対運動における、慣性系と非慣性系の座標系での物理を理解する ・エネルギーの保存、損失についての法則を理解する ・円運動・単振動をしている物体に働いている力について理解する。 ・ケプラーの法則から万有引力の法則を導き出し、太陽や地球の質量、第一宇宙速度を求める。

220 226 227 229 230 234 240 241 242 246 248 249 250 251 252 255 260 370 371 374 377 378 383 382 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401	<ul style="list-style-type: none"> ・静電気では電場およびクーロンの法則へと進み、さらにコンデンサーを学習する。 ・磁荷同士のおよぼしあう力の大きさ、磁界について理解する。 ・コンデンサーではエネルギー保存の概念についても学習する。 ・電流がつくる磁界について理解する。 ・電磁誘導についてのレンツの法則、ファラデーの法則について理解する。 ・1巻きコイルの誘導起電力を理解する。 ・交流の発生や仕組み・実効値、コイルやコンデンサーによる電圧と電流の位相のずれについて理解する。
349 352 353 356 357 359 362 364 365 366 367 368 369	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーの立場から熱を理解する。 ・気体の体積・圧力・温度の関係が計算できるようになる。 ・気体の内部エネルギーを気体分子の運動から考える。 ・熱現象が不可逆変化であることを理解すること。・気体を示す熱現象をミクロ的な気体分子運動論から考察する。熱力学第一法則を理解する。
曜日を決めて授業と演習を行う 物理 の選択領域（原子と原子核） 課題は配付しない。各自、セミナー物理 および重要問題集で学習すること 課題演習は重要問題集を利用しての問 題演習を行う	物理 の選択領域（原子と原子核）の目標 <ul style="list-style-type: none"> ・光の粒子性について光電効果を理解する。 ・X線の発生や性質について理解する。あわせてX線の波動性としてブラッグの反射について考え、X線の粒子性としてコンプトン効果を考える。 ・水素原子の構造についてボーアの理論を理解する。 ・質量とエネルギーの等価性について考える。
・センター試験対策演習を行う	・センター試験までは冬季補習を含めて、主に物理 の問題演習を行う。
・重要問題集の物理 演習を行う	・センター試験後は、個別試験対策（記述式）の問題演習を行う。

化学 文系

		単元名	教材名	時間数
前 期	4月	有機化合物 芳香族化合物	酸素を含む脂肪族化合物 教 p 200 ~ 219 芳香族炭化水素 教 p 220 ~ 224	
	5月	有機化合物の特徴と構造	酸素を含む芳香族化合物 教 p 225 ~ 231 窒素を含む芳香族化合物 教 p 232 ~ 235	
	6月	有機化合物の総復習	有機化合物の分析 教 p 187 ~ 188	
		化学 の総復習		

		物質の構成		
		第 1 回定期考査		計 27
	7月	化学 の総復習	プリント教材	
	9月	物質の構成		
		物質の変化		
		第 2 回定期考査		計 26
後 期	10月	化学 の総復習	プリント教材	
		物質の変化		
	11月	無機物質		
	12月	第 3 回定期考査		計 26
	1月	化学 の総復習	プリント教材	
	2月 3月			計 26

問題集	学 習 の 目 標
セミナー化学 P158 ~ 193	<ul style="list-style-type: none"> ・ベンゼンの構造について理解し、その他の芳香族化合物の種類や反応について理解する。 ・フェノール類や芳香族カルボン酸の性質などについて理解する。 ・アミンやジアゾ化合物の性質や利用について理解する。 ・有機化合物の成分元素の検出法や、組成式と分子式の決定について理解する。 ・有機化合物全般の内容を完全に理解する。 ・化学 の内容を完全に理解する。
セミナー化学 P144 ~ 149	
セミナー化学 P144 ~ 193	
セミナー化学 P 4 ~ 43	

セミナー化学 P 4 ~ 99	・化学 の内容を完全に理解する。
セミナー化学 P 44 ~ 143	・化学 の内容を完全に理解する。
セミナー化学 全範囲	・化学 の内容を完全に理解する。

化学 理系

	単元名	教材名	時間数
4月	溶液の性質	コロイド	教 p 65 ~ 72
	反応速度と平衡	反応の速さ	教 p 74 ~ 81
5月	反応速度	反応のしくみ	教 p 82 ~ 89
	化学平衡	化学平衡	教 p 92 ~ 94
		平衡移動と平衡定数	教 p 95 ~ 104
		電離平衡	教 p 105 ~ 121
	生活と物質	糖類	教 p 126 ~ 137
	食品の化学	タンパク質	教 p 138 ~ 148
		脂質	教 p 149 ~ 150

前期	6月	衣類の化学 第1回定期考査	食品の保存 合成高分子化合物 天然繊維と合成繊維 染料と洗剤	教 p 151 ~ 152 教 p 154 ~ 156 教 p 157 ~ 165 教 p 166 ~ 170	計 27
	7月 9月	材料の化学 生命と物質 生命体を構成する物質 生命を維持する化学反応 薬品の化学 第2回定期考査	プラスチック 合成ゴム 金属 セラミックス アミノ酸とタンパク質 糖類 脂質 核酸 化学反応と酵素 物質の分解と合成 医薬品 肥料	教 p 172 ~ 181 教 p 182 ~ 184 教 p 185 ~ 193 教 p 194 ~ 197 教 p 200 ~ 206 教 p 207 ~ 212 教 p 213 ~ 216 教 p 217 ~ 221 教 p 224 ~ 229 教 p 230 ~ 234 教 p 236 ~ 244 教 p 245 ~ 251	計 26
後期	10月 11月 12月	課題研究 化学の総復習 第3回定期考査			計 26
	1月 2月 3月	化学の総復習			計 26

* 化学の選択領域は今年度の入試問題の検討結果より内容の変更がありうる。

問題集	学習の目標
ニューグローバル化学 + p 232 ~ 249 p 258 ~ 269	<ul style="list-style-type: none"> ・ 反応速度の表し方を理解する。 ・ 濃度・温度と反応速度の関係を理解する。 ・ 活性化エネルギーおよび触媒の働きとその利用について理解する。 ・ 可逆反応、化学平衡について理解する。 ・ 平衡定数およびルシャトリエの原理について理解する。 ・ 電離平衡について理解し、水素イオン濃度やpH、酸・塩基の電離平衡から酸・塩基の強弱や緩衝液について理解する。 ・ 食品としての糖類の性質、働き、反応について理解する。 ・ -アミノ酸やタンパク質の性質や働き、性質について理解する。 ・ 代表的な脂質の構造や性質について理解する。 ・ 食品の保存について添加物を含め理解する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・衣料品材料としての合成高分子化合物の構造や、性質について理解する。 ・様々な天然繊維や合成繊維について違いや特徴について理解する。 ・染料のしくみや洗剤のしくみについて理解する。
ニューグローバル化学 + p 250 ~ 257 p 270 ~ 281	<ul style="list-style-type: none"> ・合成樹脂(プラスチック)の種類や働き、利用について理解する。 ・合成ゴムの種類や利用について理解する。 ・金属材料の用途や製法について理解する。 ・セラミックスの素材や性質、利用について理解する。 ・アミノ酸やタンパク質の構造や特徴的な反応について理解する。 ・糖類の種類や性質、生体内での反応について理解する。 ・脂質の役割や性質について理解する。 ・核酸やDNA、RNAの基本構造や働きについて理解する。 ・生体内での触媒としての酵素の働きについて理解する。 ・動物や植物の生体内での分解や合成の反応について理解する。 ・ATPの構造や働き、光合成などについて理解する。 ・医療活動に使われる代表的な薬品について理解する。 ・肥料の働きや種類、土壌などについて理解する。
重要問題集 化学 全分野	<ul style="list-style-type: none"> ・発展的な実験を実施し、それを考察する。 ・化学 の内容を完全に理解する。
重要問題集 化学 全分野	<ul style="list-style-type: none"> ・化学 の内容を完全に理解する。

生物 文系（3単位）

	単元名	学習する内容	時間数	
前	4月	オリエンテーション	1	
	5月	遺伝子と染色体	伴性遺伝と連鎖・組換え 観察：だ腺染色体の観察	1 1
		6月	遺伝子の本体	遺伝子の本体の究明・DNAの構造
		刺激の受容と動物の反応	受容器と効果器 実験：盲斑の検出 実験：ウミホタルの発光	8

期	7月	第1回考査		
	9月	神経系	興奮の伝導伝達・神経系のつくり	5
後		動物の行動	動物の行動・情報伝達 実験：学習曲線 VTR視聴：動物の行動	6
		第2回考査		
期	10月	体液とその恒常性	体液・生体防御・恒常性 VTR視聴：生体防御	11
	11月	植物の生活と環境	水の移動・光合成と環境要因 実験：光の強さと光合成速度	6
		植物の反応と調節	植物の反応・植物ホルモン 実験：オーキシンの作用	9
	12月	第3回考査		
	1月 2月 3月	総復習		17

教 材 等	
教科書	
教科書	資料集の活用(66～85ページ) 傍用問題集の活用
教科書	資料集の活用(86～89ページ) 傍用問題集の活用
教科書	資料集の活用(1～5ページ) 傍用問題集の活用
	ビーライン生物(問題集)の活用
教科書	資料集の活用(132～153ページ) 傍用問題集の活用
教科書	資料集の活用(132～153ページ) 傍用問題集の活用
	ビーライン生物(問題集)の活用
教科書	資料集の活用(156～173ページ) 傍用問題集の活用
教科書	資料集の活用(110～118ページ) 傍用問題集の活用
教科書	資料集の活用(174～181ページ) 傍用問題集の活用
	ビーライン生物(問題集)の活用
	ビーライン生物(問題集)の活用

生物 ・ 理系 (5 単位)

		単元名	学習する内容	時間数
前 期	4月	オリエンテーション 刺激の受容と反応	受容器と効果器 実験：盲斑の検出 実験：ウミホタルの発光	1 8
		神経系	興奮の伝導伝達・神経系のつくり	5
	5月	動物の行動	動物の行動・情報伝達 実験：学習曲線 VTR視聴：動物の行動	6
		体液とその恒常性	体液・生体防御・恒常性 VTR視聴：生体防御	1 1
	6月	植物の生活と環境	水の移動・光合成と環境要因 実験：光の強さと光合成速度	6
		植物の反応と調節	植物の反応・植物ホルモン 実験：オーキシンの作用	9
	第 1 回 考 査			
	7月	遺伝子の本体 - DNA	DNAの構造・複製	4
		遺伝情報とタンパク質合成	セントラルドグマ	6
		形質発現のしくみ	形質発現・突然変異	7
9月	バイオテクノロジー	遺伝子組み換え・バイオテクノロジー	6	
	化学反応と酵素	タンパク質の構造・酵素の働き 実験：カタラーゼの働き	7	
	同化	光合成・窒素同化・窒素固定 実験：光合成色素の分離	1 4	
第 2 回 考 査				
後 期	10月	異化	嫌気呼吸・好気呼吸 実験：アルコール発酵 実験：脱水素酵素	1 0
		タンパク質の機能	筋収縮・免疫・細胞間の情報伝達	1 0
	11月	個体群の構造と維持	個体群 実習：成長曲線	5
		生物群集とその変動	異種間の相互作用・植物群落	5
		生態系	生態系の構造・生態系の平衡	2
	12月	生態系の保全	環境問題・環境保全	4
		第 3 回 考 査		
	1月	生物の進化	生物の進化・進化のしくみ	1 7
	2月	生物の系統と分類	分類・いろいろな生物	1 7
	自主学習			

教 材 等	
教科書	資料集(132~153) セミナー生物
教科書	資料集(132~153) セミナー生物
教科書	資料集(132~153) セミナー生物
教科書	資料集(156~173) セミナー生物
教科書	資料集(110~118ページ) セミナー生物
教科書	資料集(174~181) セミナー生物 ビーライン生物
教科書	資料集(86~103) セミナー生物
教科書	資料集(86~103) セミナー生物
教科書	資料集(82~103) セミナー生物
教科書	資料集(86~103) セミナー生物
教科書	資料集(104~131) セミナー生物
教科書	資料集(104~131) セミナー生物 ビーライン生物
教科書	資料集(104~131) セミナー生物
教科書	資料集(138~141、164~169) セミナー生物
教科書	資料集(182~209) セミナー生物
教科書	資料集(182~209) セミナー生物
教科書	資料集(182~209) セミナー生物 ビーライン生物
教科書	資料集(210~229) セミナー生物
教科書	資料集(230~239) セミナー生物

地学 I (普通)

		単元名	教材名	時間数
前 期	4月	地球の運動 惑星の運動	太陽系と恒星 教科書 P 1 8 3 ~ P 2 1 5 惑星の視運動 (順行・逆行・留) 惑星の位置関係 (西方最大離角と東方最大離角) 会合周期と公転周期 ケプラーの法則 惑星の特徴 (木星型惑星と地球型惑星) 太陽系の小天体、太陽系の形成 太陽の概観 (黒点・コロナなど)、フラウンホーファー線、太陽のエネルギー源 (核融合)	27
	5月	惑星のすがた 太陽のすがた		
	6月	恒星の世界 恒星の性質とHR図		
	6月	恒星の誕生と進化 第1回考査		
後 期	7月	銀河系 銀河と宇宙	銀河系と宇宙 教科書 P 2 1 6 ~ P 2 2 7 銀河系の発見と構造、銀河系中心部 銀河系外の世界、銀河の分布、クェーサー 膨張する宇宙 (ハッブルの公式) 膨張宇宙論とビッグバン 日本の天気と海洋 教科書 P 1 6 0 ~ P 1 7 3 シベリア高気圧と移動性高気圧、 オホーツク海高気圧と北太平洋高気圧、 秋雨と台風 海洋の層構造、塩分、海流・環流・西岸強化 海水の鉛直循環 エルニーニョ現象 ヒート・アイランド、温暖化、オゾン層の破壊、 酸性雨、砂漠化地	26
	9月	日本の天気 日本の四季 海洋とその運動 第2回考査		
	10月	大学入試センター試験 対策問題演習		
後 期	11月			27
	12月	第3回考査		
後 期	1月	大学入試センター試験 対策問題演習	図解を利用して各単元の要点整理 センター試験に向けて問題演習	15

学習のねらい	家庭学習	発展学習
<p>惑星の運動を観察することにより、公転周期と軌道半長径との関係を探求的に探し出し、ケプラーの法則が様々な運動に応用できることを学ぶ。</p> <p>8個ある惑星のなかで、地球だけが生物の存在する環境であることを、様々なデータから分析し、考える。</p> <p>地球上の生命にとって光と熱を送ってくれる太陽はなくてはならない存在である。もっとも身近な恒星である太陽を学ぶ。</p> <p>現在、我々が見ている恒星は、それぞれの一生のうちの一瞬の姿である。恒星からの明るさや色の様々な情報から、恒星までの距離や恒星の大きさや質量や年齢等を求める。</p>	<p>公式や重要用語を書いて整理しよう</p> <p>年周視差とはなにか？ 火星の会合周期から公転周期を求めてみよ。</p> <p>近日点距離と遠日点距離を離心率を用いて表せ。</p> <p>惑星の公転周期から惑星と太陽までの平均距離を求める公式は何か 木星型惑星と地球型惑星の違いについてまとめる。</p> <p>フレアとはなにか。その現象が起きると地球では何が起きるか。 恒星までの距離と年周視差の間にはどのような関係式が成立するか 絶対等級とは何か？ 太陽の表面温度はどのようにして推定したか。</p> <p>H R 図の縦軸と横軸はなにか。 食変光星（連星）の変光周期を利用して、恒星の質量を求められる。 散光星雲として有名な星雲は何か</p>	<p>問題集で実力をつけよう。 (基本マスター) P 2 ~ P 3 P 6 4 ~ P 7 7</p> <p>問題集(マーク式) P 1 0 2 ~ P 1 2 6</p> <p>ケプラーの法則は、楕円軌道の法則と面積速度一定の法則と調和の法則がある。それぞれの公式を書いてみよう。</p>
<p>恒星の大集団はどのような構造であり、運動をしているのであろうか。宇宙の広がりや進化について学習し、現在の宇宙観を学ぶ。</p> <p>日本は中緯度の偏西風帯に属し、アジア大陸の東岸に位置している。日本の天気の特徴を理解する。</p> <p>海洋は、地球の気候に大きな影響を及ぼす。海水の動きやエルニーニョ現象などとともに、環境問題についても理解を深める。</p>	<p>要点を整理しよう。</p> <p>銀河系はどのような構造をしているのであろうか。 恒星の大集団の銀河は、どのような分布をしているのか。 銀河の運動はどうなっているのか 宇宙の地平線とは。 日本の天気の特徴とは。 躍層とはなにか。 水平方向・鉛直方向の海水の動きはどのようになっているのか。 人間の活動により、地球環境はどのような影響を受けているのか。</p>	<p>問題集で実力をつけよう 問題集(基本マスター) P 7 8 ~ P 7 9 問題集(マーク式) P 1 2 7 ~ P 1 2 8</p> <p>問題集(基本マスター) P 5 8 ~ P 6 3 問題集(マーク式) P 9 3 ~ P 1 0 0</p>
<p>志望する大学に入学するために地学を選んだ人も多いが、地学で学ぶ内容は、人類全体に重要な内容であり、深く学習するほど奥が深くおもしろいと感じさせたい。</p>	<p>図解は、教科書よりさらに詳しい内容が含まれている。美しい図を眺めながら、詳しく学んでほしい。 たとえば、下の視点で調べてみよう。</p> <p>エルニーニョ現象と貿易風の関係について述べよ。 黒潮が蛇行する仕組みを説明せよ 地衡風や地衡流に働く力は何か。 花崗岩やホルンフェルスやチャートを偏光顕微鏡でみると、どのような鉱物がどのような組織として観察できるか？</p>	<p>問題集でさらに実力をつけよう 問題集(マーク式) P 8 ~ P 9 2</p>
		<p>問題集でさらに実力をつけよう センター試験過去問題</p>

地学 I (創造表現コース)

		単元名	教材名	時間数
前 期	4月	地球の運動 惑星の運動	太陽系と恒星 教科書 P 1 8 3 ~ P 2 1 5 惑星の視運動 (順行・逆行・留) 惑星の位置関係 (西方最大離角と東方最大離角) 会合周期と公転周期 ケプラーの法則 惑星の特徴 (木星型惑星と地球型惑星) 太陽系の小天体、太陽系の形成 太陽の概観 (黒点・コロナなど)、フラウンホー ファー線、太陽のエネルギー源 (核融合)	2 7
	5月	惑星のすがた 太陽のすがた		
		恒星の世界 恒星の性質と H R 図		
	6月	恒星の誕生と進化		
		第 1 回 考 査		
後 期	7月	銀河系 銀河と宇宙	銀河系と宇宙 教科書 P 2 1 6 ~ P 2 2 7 銀河系の発見と構造、銀河系中心部 銀河系外の世界、銀河の分布、クェーサー 膨張する宇宙 (ハッブルの公式) 膨張宇宙論とビッグバン 日本の天気と海洋 教科書 P 1 6 0 ~ P 1 7 3 シベリア高気圧と移動性高気圧、 オホーツク海高気圧と北太平洋高気圧、 秋雨と台風 海洋の層構造、塩分、海流・環流・西岸強化 海水の鉛直循環 エルニーニョ現象 ヒート・アイランド、温暖化、オゾン層の破壊、 酸性雨、砂漠化地	2 6
	9月	日本の天気 日本の四季 海洋とその運動		
		第 2 回 考 査		
後 期	1 0 月	大学入試センター試験 対策問題演習	図解を利用して各単元の要点整理 センター試験に向けて問題演習	2 7
	1 1 月			
	1 2 月	第 3 回 考 査		
	1 月	大学入試センター試験 対策問題演習	図解を利用して各単元の要点整理 センター試験に向けて問題演習	1 5

学習のねらい	家庭学習	発展学習
<p>惑星の運動を観察することにより、公転周期と軌道半長径との関係を探求的に探し出し、ケプラーの法則が様々な運動に応用できることを学ぶ。</p> <p>8個ある惑星のなかで、地球だけが生物の存在する環境であることを、様々なデータから分析し、考える。</p> <p>地球上の生命にとって光と熱を送ってくれる太陽はなくてはならない存在である。もっとも身近な恒星である太陽を学ぶ。</p> <p>現在、我々が見ている恒星は、それぞれの一生のうちの一瞬の姿である。恒星からの明るさや色の様々な情報から、恒星までの距離や恒星の大きさや質量や年齢等を求める。</p>	<p>公式や重要用語を書いて整理しよう</p> <p>年周視差とはなにか？ 火星の会合周期から公転周期を求めてみよ。</p> <p>近日点距離と遠日点距離を離心率を用いて表せ。</p> <p>惑星の公転周期から惑星と太陽までの平均距離を求める公式は何か 木星型惑星と地球型惑星の違いについてまとめる。</p> <p>フレアとはなにか。その現象が起きると地球では何が起きるか。 恒星までの距離と年周視差の間にはどのような関係式が成立するか 絶対等級とは何か？ 太陽の表面温度はどのようにして推定したか。</p> <p>H R 図の縦軸と横軸はなにか。 食変光星（連星）の変光周期を利用して、恒星の質量を求められる。 散光星雲として有名な星雲は何か</p>	<p>問題集で実力をつけよう。 (基本マスター) P 2 ~ P 3 P 6 4 ~ P 7 7</p> <p>問題集(マーク式) P 1 0 2 ~ P 1 2 6</p> <p>ケプラーの法則は、楕円軌道の法則と面積速度一定の法則と調和の法則がある。それぞれの公式を書いてみよう。</p>
<p>恒星の大集団はどのような構造であり、運動をしているのであろうか。宇宙の広がりや進化について学習し、現在の宇宙観を学ぶ。</p> <p>日本は中緯度の偏西風帯に属し、アジア大陸の東岸に位置している。日本の天気の特徴を理解する。</p> <p>海洋は、地球の気候に大きな影響を及ぼす。海水の動きやエルニーニョ現象などとともに、環境問題についても理解を深める。</p>	<p>要点を整理しよう。</p> <p>銀河系はどのような構造をしているのであろうか。 恒星の大集団の銀河は、どのような分布をしているのか。 銀河の運動はどうなっているのか 宇宙の地平線とは。 日本の天気の特徴とは。 躍層とはなにか。 水平方向・鉛直方向の海水の動きはどのようになっているのか。 人間の活動により、地球環境はどのような影響を受けているのか。</p>	<p>問題集で実力をつけよう 問題集(基本マスター) P 7 8 ~ P 7 9 問題集(マーク式) P 1 2 7 ~ P 1 2 8</p> <p>問題集(基本マスター) P 5 8 ~ P 6 3 問題集(マーク式) P 9 3 ~ P 1 0 0</p>
<p>志望する大学に入学するために地学を選んだ人も多いが、地学で学ぶ内容は、人類全体に重要な内容であり、深く学習するほど奥が深くおもしろいと感じさせたい。</p>	<p>図解は、教科書よりさらに詳しい内容が含まれている。美しい図を眺めながら、詳しく学んでほしい。 たとえば、下の視点で調べてみよう。</p> <p>エルニーニョ現象と貿易風の関係について述べよ。 黒潮が蛇行する仕組みを説明せよ 地衡風や地衡流に働く力は何か 花崗岩やホルンフェルスやチャートを偏光顕微鏡でみると、どのような鉱物がどのような組織として観察できるか？</p>	<p>問題集でさらに実力をつけよう 問題集(マーク式) P 8 ~ P 9 2</p>
		<p>問題集でさらに実力をつけよう</p> <p>センター試験過去問題</p>

体育

		単元名	学習する内容	時間数
前 期	4月	オリエンテーション	選択について 前期・後期それぞれ1種目ずつ選択し、以下のよう に取り組む。	男女とも 16
	5月	選 択	練習内容の自主作成 ノートづくり 練習計画・練習記録・試合記録 体操・補強運動・ストレッチ 基本練習・技術練習・戦術練習 ルール理解・審判法 * 6月にスキルテストとルールテストを行う。	
	6月			
	7月		選択 実施予定種目 グラウンド(球技) ソフト・バスケ・バレー 体育館 卓球・バドミントン テニスコート テニス・ソフトテニス 個人(グラウンド) 陸上(三段・ハードル) 格技館 剣道 など	8
	8月		体育大会練習	体育大会の練習 ラジオ体操・集団種目 出場種目・リレー等
	9月	【体育大会】		
10月				
後 期	10月	選 択	選択 実施予定種目 グラウンド(球技) サッカー・バレー・バスケ 体育館 卓球・バドミントン テニスコート テニス・ソフトテニス 個人(グラウンド) 陸上(三段・ハードル) 格技館 剣道 など * 11月にスキルテストとルールテストを行う。	16
	11月			
	12月			
	1月			18
	2月		【自主学习】	
3月				

音楽

		単元名	学習する内容	時間数
前	4月	「音楽の基礎能力を身につける」	聴音 / 音楽理論	8
			視唱	8
前	5月		聴音 / 音楽理論	8
			視唱	8
期	6月	第1回考査 「DTMの研究」	聴音 / 音楽理論	6
			視唱	6
期	7月		コンピュータミュージック	1 2
	9月		コンピュータミュージック	1 2
後	10月	「和声理論の実習」 「専門実技の向上」	和声学	8
			専門実技	8
後	11月		和声学	8
			専門実技	8
期	12月	第3回考査	専門実技・発表	8
	1月		「日本の音楽に精通する」	鑑賞・日本音楽について
期	2月			
	3月		第4回考査	

教 材 等

「理論と実習」(通年使用)

「受験生のための視唱と聴音」

「ケークウォーク / ホームスタジオ」

雅楽「陵王」 / 能「羽衣」 / 文楽「菅原伝授手習鑑」他

書道

		単元名	学習する内容	時間数
前	4月	文化祭作品の制作	課題を決定し書作する。 書体（篆書、隸書、楷書、行書、草書）の決定 素材（画仙紙、その他）の決定 表装展示の形式の決定 作品に合う印の制作	1 2
	5月			
	6月			
期	7月	古典の臨書その	半紙に臨書する 4～10文字 古典の研究	1 4
	9月	古典の臨書その	画仙紙に臨書する。 書体、形式の決定	1 0
後	10月	卒業作品制作	課題を決定し書作する。 書体（篆書、隸書、楷書、行書、草書）の決定 素材（画仙紙、その他）の決定 表装展示の形式の決定 作品に合う印の制作	1 2
	11月			1 0
	12月			1 0
	1月		8	
	2月			
	3月	作品鑑賞	2	

リーディング（普通コース）

		単元名	学習する内容	時間数
前 期	4月	Lesson 1 Saying the Same Thing in Different Ways	<p>テキスト179ページ以降の「より効果的なリーディングのために」をもとに、文レベルの理解とパラグラフレベルでの理解を深める練習を行う。特に、論理関係を表す語句に注意した「読み」、文章の構成方法に着目した「読み」の手法を学習する。</p> <p>また、理解を深めるために、音読練習やリスニングなどの言語活動を行うとともに、テキストに出てくる単語についての理解と増強を行う。</p> <p>さらに、リスニングテストならびに単語テストを引き続いて実施する。</p>	27
	5月	Lesson 2 This is Not a Pipe		
6月	Lesson 3 When the World Melts			
7月	第1回考査			
9月	Lesson 5 Interview with Ichiro センター長文対策 Lesson 7 This Dizzy World 第2回考査	<p>同上</p> <p>副教材を用いて、センター入試第3, 4, 5, 6問対策を行う。</p>		27
後 期	10月	Lesson 9 Losing Battle after Battle	同上	27
	11月	Lesson 11 The Meaning of Education in Modern Society センター直前演習	<p>予行演習を兼ねてセンターの問題形式に沿って練習問題を解いていく。</p>	
	12月	第3回考査		
	1月	2次試験長文直前 対策	<p>センター試験以降はリスニングも含め私大及び国立大学2次試験に向けた演習問題をを基に、「読み」の能力をさらに高める。</p>	24
	2月			
	3月			

リーディング（創造表現コース）

		単元名	学習する内容	時間数
前 期	4月	Part 1 Focus 1 Focus 2 Focus 3	<p>テキストのPart1をもとに、文章の概要や要点のつかみ方、段落の主題文の見つけ方などの「読み」の技術を学習する。</p> <p>また、理解を深めるために、音読練習やリスニングなどの言語活動を行うとともに、テキストに出てくる単語についての理解と増強を行う。</p> <p>さらに、リスニングテストならびに単語テストを引き続いて実施する。</p>	27
	5月	Focus 4 Focus 5 Focus 6 Focus 7		
	6月	Focus 8 第1回考査		
	7月	Part 2 Lesson 1 The Fun They Had	<p>Part1で学習した「読み」の技術をもとに、ある程度長い文章を読み、文レベルの理解とともに文章レベルでの「読み」の技法を深める。</p> <p>また、理解を深めるために、音読練習やリスニングなどの言語活動を行うとともに、テキストに出てくる単語についての理解と増強を行う。</p> <p>さらに、リスニングテストならびに単語テストを引き続いて実施する。</p>	27
	9月	Lesson 2 One Car, 62 Years Lesson 3 Corals Are Crying 第2回考査		
後 期	10月	Lesson 6 House Painting	同 上	27
	11月	Lesson 7 What can We Learn from Art? センター直前演習		
	12月	第3回考査		
	1月	2次試験長文直前対策	センター試験以降はリスニングも含め私大及び国立大学2次試験に向けた演習問題ををもち、「読み」の能力をさらに高める。	24
	2月			
	3月			

ライティング（普通コース）

		単元名	学習する内容	間数
前 期	4月 5月	L7 Keeping Warm in a Kotatsu L8 When O-Bon Comes L9 A Letter to the Editor	不定詞と動名詞（品物の説明） 接続詞やつなぎの副詞（行事の説明） 慣用的な受け身表現（考え方や価値観の説明）	18
	6月 7月	L10 For or Against L11 Saving the Natural Environment L12 Women's Working Conditions 第1回考査 <Writing High-level> 表現1 目的・結果を表現する	不定代名詞（主張と理由） 無生物主語の構文（原因と結果） 強調（小論の構成） 頻出表現で実践力を養成する	
期	8月 9月	表現2 原因・理由を表現 表現3 依頼・加入・推測 スキル 表現4 否定 表現5 比較・比例 表現6 時・頻度 スキル	主語・目的語を考える 文の接続に注意する	16
	10月	表現7 過程・条件・譲歩 表現8 数量・程度 表現9 提案・要求・願望 スキル 受動態・使役 第2回考査		
後 期	10月 11月	表現10 当然・助言・命令 表現11 必要・可能・能力 表現12 疑問・強調・感嘆 スキル 表現13 会話表現 表現14 イデオロム	無生物主語・名詞表現を使う 日本語から訳しにくい表現を攻略する	18
	12月	ジャンル1 日常生活 ジャンル2 語学・言語 スキル ジャンル3 旅行・交通 ジャンル4 文化・社会 ジャンル5 科学・自然 ジャンル6 人生・生き方 ジャンル7 時事問題 第3回考査		
	1月 2月	スキル ジャンル8 自由作文	自由英作文を攻略する センター試験までは「センター試験対策用問題集」を使用し問題形式にそって、練習問題を解いていく。 センター試験以後は、私大及び国公立大学2次試験に向けた演習問題を解いていく。	18
	3月			

ライティング（創造表現コース）

		単元名	学習する内容	間数	
前	4月	L5 The Grand Canyon	前置詞（場所の描写）	18	
		L6 What a holiday!	分詞構文（出来事の記述）		
	5月	L7 Keeping Warm in a Kotatsu	不定詞と動名詞（品物の説明）		
		L8 When O-Bon Comes	接続詞やつなぎの副詞（行事の説明）		
	6月	L9 A Letter to the Editor	慣用的な受け身表現（考え方や価値観の説明）		
		L10 For or Against	不定代名詞（主張と理由）		
	7月	L11 Saving the Natural Environment	無生物主語の構文（原因と結果）		
		L12 Women's Working Conditions	強調（小論の構成）		
	8月 9月	<Writing High-level> 表現1 目的・結果を表現する	頻出表現で実践力を養成する		
		表現2 原因・理由を表現 表現3 依頼・加入・推測 スキル 表現4 否定 表現5 比較・比例 表現6 時・頻度 スキル 表現7 過程・条件・譲歩 表現8 数量・程度 第2回 考査	主語・目的語を考える 文の接続に注意する		16
後	10月	表現9 提案・要求・願望 スキル 表現10 受動態・使役 表現11 当然・助言・命令 表現12 必要・可能・能力 表現12 疑問・強調・感嘆	受動態と使役表現に注意する	18	
	11月	スキル 表現13 会話表現 表現14 アイデア ジャンル1 日常生活 ジャンル2 語学・言語 スキル ジャンル3 旅行・交通 ジャンル4 文化・社会 第3回 考査	無生物主語・名詞表現を使う 日本語から訳しにくい表現を攻略する		
	12月	スキル	日本語と英語の意味の違いに注意する		
	1月	ジャンル5 科学・自然 ジャンル6 人生・生き方	センター試験までは「センター試験対策用問題集」を使用し問題形式にそって、練習問題を解いていく。		
	2月 3月	ジャンル7 時事問題	センター試験以後は、私大及び国公立大学2次試験に向けた演習問題を解いていく。		18

英語講読

		単元名	学習する内容	時間数
前	4月	LESSON 1	<p>各課のテキスト本文を読み、内容を十分に理解した上で音読などの言語活動を行う。</p> <p>読解を進めていく上で必要な文法・構文などの表現方法についての知識の整理をする。</p> <p>英文全体を理解し、それに対する自分の考えを表現する力を養成する。</p>	18
	5月	LESSON 6		
	6月	第1回考査		
期	7月	LESSON 7	同上	16
	9月	LESSON 12		
		第2回考査		
後	10月	LESSON 13	同上	18
	11月	LESSON 18		
	12月	第3回考査		
期	1月	LESSON 19		18
	2月	LESSON 20		
	3月			

CG

		単元名	学習内容	時間
前期	4月	CG概論	デザインの社会的効果について デザインにおける視覚伝達効果について コンピュータとアプリケーションの基本操作	6
	5月	CG演習	<ul style="list-style-type: none"> グラフィック系アプリケーションについて 画像データの修正と編集 グラフィックデザインの特徴 イラストレーション、画像、書体の役割と効果 	30
	6月			
	7月	CG演習	本の制作 <ul style="list-style-type: none"> エディトリアルデザインの基礎学習 レイアウトの基本と応用 本のシュミレーション制作 様々な用紙による印刷効果 装丁技法の学習 現代の印刷技術について 	34
9月				
後期	10月	CG概論	映像表現について（画像の編集、合成、加工） 現代における映像メディア表現の領域 様々なアプリケーションの特性と技法	4
	11月			
	12月	CG演習	アニメーション制作 <ul style="list-style-type: none"> アニメーションについて 静止画像を用いた動画の編集 フィルター効果について 	16
				30
	1月	課題別作品制作	テーマに基づいた本の制作CG作品の制作 <ul style="list-style-type: none"> 自然、自己、社会を通じた主題設定 制作意図に応じた表現方法の工夫 表現材料や技法の活用 制作日程の進め方とアイデアスケッチ 	20
2月				
3月				

デザイン

		単元名	学習内容	時間
前 期	4月	デザイン概論	デザインの果たす役割についての理解 ・デザインの社会的役割について ・視覚的な伝達効果について（平面）	10
	5月	平面表現	アクリル絵の具を用いた表現の学習 ・アクリル絵の具の特性 ・材質感の表現 （用紙 / B2パネル）	25
	6月	平面表現	平面表現の学習 ・アクリルガッシュの特性と扱い方 ・モチーフの特質と描写（色彩・形体・材質） ・構成による視覚効果（リズム・バランス） ・画面構成の工夫（造形・配色） （用紙 / B2パネル）	35
	7月 9月			
後 期	10月	デザイン概論	デザインの果たす役割についての理解 ・デザインの社会的役割について ・美的造形性と機能美について（立体）	10
	11月	立体表現	様々な素材を用いた表現の学習 ・水粘土の特性と扱い方 ・モチーフの特質を生かした表現	20
	12月	立体表現	立体表現の学習 ・造形の効果と構成の工夫 ・材料の特性とその表現効果 ・形体の性質と空間に果たす効果 （リズム・バランス） （ケント紙・スチレンボード・竹ひご等）	20
	1月			
	2月	課題別作品制作	テーマに基づいた平面構成の学習 ・自然、自己、社会を通じた主題設定 ・制作意図に応じた表現方法の工夫 ・表現材料や技法の活用 ・制作日程の進め方とアイデアスケッチ （用紙 / B2パネル）	20
	3月			

絵画

		単元名	学習内容	時間
前 期	4月	画材研究	フレスコ、テンペラ、油彩画などの描画方法やその歴史、成り立ちなどについて ・それぞれの技法の特徴や性質について ・技法別名画の研究	2
	5月	静物油彩	油彩による静物画表現の学習 ・構図のとり方や描画の方法について ・油彩による立体表現及び質感表現について ・下地の必要性、画面にもたらす効果について ・油絵の具の性質、技法について (支持体 / F 15 キャンバス)	2 4
	6月			
	7月	人物油彩	油彩による人物表現の学習 ・構図のとり方や描画の方法について ・人物画をモチーフとした画面構成について ・人体の比率やバランスの取り方について ・質感表現について (支持体 / F 15 キャンバス)	1 6
	8月 9月	静物油彩	油彩による静物画表現の学習 ・構図のとり方や描画の方法について ・油彩による立体表現及び質感表現について ・主題を明確にした空間の構成について ・油絵の具の性質、技法について (支持体 / F 15 キャンバス)	2 0
		静物デッサン	静物デッサンにおける構図のとり方や描画の方法について ・明暗の階調(グラデーション)について ・中間色を生かした表現効果について ・立体感の表現について ・質感表現、空間表現について (用紙 / 木炭氏・木炭紙大画用紙)	8
後 期	10月	静物油彩	油彩による静物画表現の学習 ・構図のとり方や描画の方法について ・油彩による立体表現及び質感表現について ・主題を明確にした空間の構成について ・油絵の具の性質、技法について (支持体 / F 15 キャンバス)	2 0
	11月	静物油彩(大作)	・今までに学習した内容を応用し表現方法を高める (支持体 / F 50 キャンバス)	5 0
	12月			
	1月			
	2月			
3月				

工芸

		単元名	学習内容	時間
前 期	4月	工芸概論	伝統工芸の美意識や特質について理解し自らの制作に活用できる能力を身に付ける	2 4
	5月	金属工芸 (鍛金)	金属工芸における表現と技法の学 鍛金の基礎的な表現方法と制作方法について学ぶ ・金属の特性について ・浮き彫りの表現について	
	6月	ガラス工芸 (七宝焼き) (ステンドグラス) (テリウム等)	ガラス工芸の技法と表現の学習 銀線七宝の技法を学ぶ ・素材としてのガラスの特性について ・ガラス工芸の歴史 七宝の技法と表現について学習する ・金線七宝について ステンドグラス技法を学ぶ ・平面技法と立体技法について	3 2
	7月			
	9月	鉛筆デッサン (静物)	物の材質感や空間が適切に表現できるようにする	1 4
後 期	10月	染色	染色の技法と表現について学ぶ ・染めの技法について ・染色の応用と実際 ・素材を選定してさまざまな染め方を工夫する	4 2
	11月			
	12月			
期	1月	生活用品の デザイン	身近にある製品を基に造形的な美しさを研究する ・用途に応じた形や素材の研究	2 8
	2月			
	3月			

構成

		単元名	学習内容	時間
前 期	4月	構成概論	<ul style="list-style-type: none"> ・ 構成における美的秩序について ・ 構成の原理について (シンメトリー・バランス・ムーブメント・リズム) 	5
	5月	平面構成	点・線・面の集積による構成 自然物の構造を生かした構成	15
	6月			
	7月	構成デッサン	手とモチーフを用いた構成デッサン <ul style="list-style-type: none"> ・ 構図のとり方や描画の方法 ・ 画面構成の工夫 ・ 質感表現、空間表現について ・ 鉛筆描写の特性について 	15
9月				
後 期	10月	平面構成 (モチーフ)	モチーフによる平面構成の学習 <ul style="list-style-type: none"> ・ モチーフの特質と描写(色彩・形体・材質) ・ 構成による視覚効果(リズム・バランス) ・ 画面構成の工夫(造形・配色) (用紙/B3パネル)	10
	11月	立体構成 (水粘土・紙など)	モチーフ・テーマを用いた立体構成の学習 <ul style="list-style-type: none"> ・ 水粘土の特性と扱い方 ・ モチーフの特質を生かした表現 ・ 造形の効果と構成の工夫 ・ 材料の特性とその表現効果 ・ 形体の性質と空間に果たす効果 (リズム・バランス) (ケント紙・スチレンボード・竹ひご等)	15
	12月			
	1月	平面構成 (イメージ)	テーマに基づいた平面構成の学習 <ul style="list-style-type: none"> ・ 色彩、形体、構成による視覚効果 ・ 構成による視覚効果(リズム・バランス) ・ 画面構成の工夫(造形・配色) 	10
	2月			
3月				

彫塑

		単元名	学習内容	時間
前 期	4月	石膏デッサン	石膏像をモチーフとした木炭デッサンの学習 ・木炭の素材についての学習 ・画面内でのモチーフの入り方、構図の研究 ・石膏像の持つ質感、量感の追求	1 5
	5月	彫塑概論	彫塑全般についての学習 ・塑像と彫像の表現について ・東洋彫刻と西洋彫刻の歴史について ・近代～現代彫刻について	5
	6月	塑像（頭像）	水粘土を用いた塑像制作（頭部） ・塑像制作の技法と概説 ・人体の構造について ・水粘土の組成と保管、再生について ・制作道具の使用方法（ヘラ・制作台等） ・心棒材料と制作（角材・しゅる縄等） ・制作／粘土付け ・保管	3 5
	7月			
	8月 9月	型どり・流し込み （頭像） 鑑賞	頭像（水粘土）の石膏取りと流し込み ・石膏について ・切り金入れ ・石膏取り（雌型の制作） ・粘土出し ・雄型石膏の貼り込みと割り出し	1 5
後 期	10月	石膏デッサン	石膏像をモチーフとした木炭デッサンの学習 ・木炭の素材についての学習 ・画面内でのモチーフの入り方、構図の研究 ・石膏像の持つ質感、量感の追求	1 5
	11月	立体造形	課題別の立体制作 ・各自で決めたテーマに沿った立体物の作成 ・制作計画を考える ・使用する素材の研究 ・エスキース ・立体物の骨格・構造を研究	3 5
	12月			
	1月	石膏デッサン 鑑賞	石膏像をモチーフとした木炭デッサンの学習 ・木炭の素材についての学習 ・画面内でのモチーフの入り方、構図の研究 ・石膏像の持つ質感、量感の追求 ・お互いの作品を鑑賞し、それぞれの良いところを学ぶ	2 0
	2月			
3月				

陶芸

		単元名	学習内容	時間
前 期	4月	陶芸実習	焼き物の技法と表現の基礎を学ぶ 使いやすさと美しさの融合を理解する 日用品の制作(湯呑)	10
	5月	鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・手練りによる湯呑など日用品の制作 ・粘土の性質，釉薬の性質について ・目標の形が出来上がるように 	
	6月	陶芸実習	大型陶芸作品の基本を習得し表現できるようにする <ul style="list-style-type: none"> ・イメージの中で立体が創造できる ・創造したものをデッサンとして表現 ・粘土の性質を理解する ・紐作りによる大型作品の制作基礎 ・乾燥の方法と養生の仕方 ・素焼きの実際と施釉 	25
	7月	鑑賞		
	8月 9月	陶芸実習	板作りの基本を習得し皿などを制作する <ul style="list-style-type: none"> ・板作りの基本を理解する ・乾燥の方法と養生の仕方 ・素焼きの実際と絵付け及び施釉 	20
後 期	10月	鑑賞		
	11月	テーマ別実習	各自でテーマを設定しこれまでに学んだ技法を応用しながら，用と美を追求した作品の制作を行う <ul style="list-style-type: none"> ・技法の応用と探求 ・土や釉薬の特性を生かした表現 ・形の美しさを追求する 	50
	12月			
	1月			
	2月	鑑賞		
	3月			

日本画

		単元名	学習内容	時間	
前 期	4月	細密画 (鉛筆)	鉛筆による細密な表現を学ぶ ・鉛筆の種類、硬軟の使い分けと、表現効果	16	
	5月	静物画 植物スケッチ (水彩)	質感表現 顔彩による表現と描法を学ぶ ・植物画の構図のとり方や描法の方法 ・植物の生命感のある描画、描線 ・立体感、質感表現	20	
	6月				
			画材研究	日本画の描画方法やその歴史、成り立ちなどを学ぶ ・日本画の特徴や性質について	4
	7月	静物画 (日本画)	岩、水干絵の具による日本画の技法と表現を学ぶ ・膠の使用法 ・用具の使用法 ・人体の比率やバランスの取り方 ・質感表現について	30	
8月 9月					
後 期	10月	石膏デッサン (鉛筆)	石膏像をモチーフとした鉛筆描写の学習 ・量感、動勢、空間表現 ・画面内でのモチーフの入り方、構図の研究 ・石膏像の持つ質感、量感の追求	8	
	11月	自画像制作 (日本画)	授業で実践した技法・描画材を応用し、自画像の日本画制作を行う ・人体骨格の確認と構図の研究 ・人体の比率やバランスの取り方 ・質感表現 ・岩、水干絵の具による日本画の技法と表現	50	
	12月				
	1月	静物画 (水彩)	画面構成と構図の取り方、着彩方法を学ぶ ・静物画の構図のとり方や描画の方 ・質感表現 ・空間表現	12	
2月					
3月					

美術史

		単元名	学習内容	時間
前 期	4月	西洋美術史	<ul style="list-style-type: none"> ・古代都市の誕生と文化の発展 ・ギリシャ美術の理想美 	2
		古代文明の造形		6
	5月	理想美の追求		
		ローマ美術	・ローマの建築と彫刻	5
	6月	中世の美術	・キリスト教美術	4
		ルネサンス 第1回考査	・自然と人間性の目覚め	6
	7月	バロックとロココ	・宮廷の美術と市民の美術	6
	8月			
	9月	近代美術	・多様化した表現	6
後 期	10月	現代美術	・現代美術の今とゆくえ	6
		日本の美術	・日本における造形活動の芽生え	4
	11月	仏教伝来と美術	・仏教伝来とともに発達した建築や彫像技術	4
	12月	貴族の美術	・日本的な文化のはじまり	4
	1月	鎌倉室町時代の美術	・宋の文化の導入と写実・禅宗と水墨画	4
		江戸時代の美術	・庶民の美術と近代化の芽生え	4
	2月	日本美術の近代化	・西洋絵画の導入と変革	5
		現代の美術	・現代の日本美術	4
	3月			

美術創造

		単元名	学習内容	時間
前 期	4月	人物デッサン	鉛筆及び木炭を用いた素描表現の学習 ・鉛筆または木炭描写の特性について ・材質感や空間の表現技法について ・人物画の構図のとり方について (用紙/木炭紙大画用紙)	10
	5月	静物デッサン	鉛筆及び木炭を用いた素描表現の学習 ・鉛筆または木炭の特性を生かした描画法について ・質感表現、空間表現について ・静物画の構図のとり方について (用紙/木炭紙・木炭紙大画用紙)	10
	6月	石膏像デッサン	鉛筆及び木炭を用いた素描表現の学習 ・鉛筆、木炭描写の特性を生かした表現について ・石膏像をモチーフとした表現の学習 ・石膏像の量感や質感の表現について (用紙/木炭紙・木炭紙大画用紙)	10
	7月	静物デッサン	鉛筆及び木炭を用いた素描表現の学習 ・鉛筆または木炭の特性を生かした描画法について ・小型石膏像を組み合わせた静物画の質感・空間表現について (用紙/木炭紙・木炭紙大画用紙)	12
	8月 9月	石膏像デッサン	鉛筆及び木炭を用いた素描表現の学習 ・石膏像をモチーフとした表現の学習 ・石膏像の量感や質感の表現について (用紙/木炭紙・木炭紙大画用紙)	12
後 期	10月	静物デッサン 絵画表現	鉛筆及び木炭を用いた素描表現の学習 ・画面の中での構成力を学習する ・質感表現の追及 ・これまで学習した描画法を応用し表現方法を高める (用紙/全判画用紙)	26
	11月			
	12月 1月 2月 3月	課題別作品制作	各自のテーマに基づいた絵画表現の学習 ・テーマ、表現方法、モチーフの選定について ・制作意図に応じた表現方法の工夫について ・表現材料の選定や技法の活用について (用紙/自由)	25